

1:1 テオフィロ様。私は前の書で、イエスが行い始め、また教え始められたすべてのことについて書き記しました。

。
テオフィロ=@神の友の意味

1:7 イエスは彼らに言われた。「いつとか、どんな時とかいうことは、あなたがたの知るところではありません。それは、父がご自分の権威をもって定めておられることです。

1:8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。」

@わたしの証人 (イザヤ 44:8) あなたがたはわたしの証人 (イザヤ 43:10) (世) もそう書いている。

@イエスの証人 (1:8) (1:22) (5:32) (13:31)
イエスを宣言 (2:32) (4:12) (9:15)
復活を宣言 (4:33)

@地= (へ) エレツ

@聖霊に満たされる (2:4) (4:8) (4:31) (6:3)
(7:17)(10:45)(11:24)(13:9)(13:52)

@み言葉の広がり (6:7)(9:31)(12:24) ますます盛んに
(16:5)(19:10)(19:20)(28:31)妨げられることなく

1:9 こう言うてから、イエスは使徒たちが見ている間に上げられた。そして雲がイエスを包み、彼らの目には見えなくなった。

@昇天の地はベタニアの近く

ルカ 24:50 それからイエスは、弟子たちをベタニアの近くまで連れ

て行き、手を上げて祝福された。

1:12 そこで、使徒たちはオリーブという山からエルサレムに帰った。この山はエルサレムに近く、安息日に歩くことが許される道のりのところにあった。

@オリーブ山から昇天したとは書いていない。文脈によると。安息日に歩くことが赦される距離を守るために近道であるオリーブ山を通っただけ。

から=(KJV) from

1:14 彼らはみな、女たちとイエスの母マリア、およびイエスの兄弟たちとともに、いつも心を一つにして祈っていた。

いつも～していた=◀ 4342. proskartereó (プラスカルテレオ) 10回▶(V)常に務めている、

@ (ギ) 常に務めていた、(A)一つになって、(N)祈りの中で

心を一つにして=◀ 3661. Homothumadon (ハマセマダーン) 11回▶ 一つの心で、一致をもって、一斉に

使徒 2:46 そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、

使徒 4:24 これを聞いた人々は心を一つにして、神に向かって声をあげた。「主よ。あなたは天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造られた方です。

使徒 使 7:57 人々は大声で叫びながら、耳をおおい、一斉にステパノに向かって殺到した

祈り = ◀ 4335. proseuché (プラスウヘィ)37回▶(N) 祈り (真剣な祈り) (語源は 4336. proseuchomai (普通に祈る))

祈り = (ギ) あの祈り = (tē proseuchē) (τῆ προσευχῆ) (the prayer) 特定の祈り？

@the prayer が使われている箇所はたくさんある。したがって、使徒 1:14 の祈りが絶対に主の祈りであったとはいえない。

マタイ 21:22 あなたがたは、信じて祈り求めるものは何でも受けることになります。」 (tē proseuchē)

ルカ 6:12 そのころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈りながら夜を明かされた。(tē proseuchē)

ルカ 22:45 イエスが祈り終わって立ち上がり、弟子たちのところに行ってお覧になると、彼らは悲しみの果てに眠り込んでいた。(tēs proseuchēs)

使徒 1:14 彼らはみな、女たちとイエスの母マリア、およびイエスの兄弟たちとともに、いつも心を一つにして祈っていた。(tē proseuchē)

使 6:4 私たちは祈りと、みことばの奉仕に専念します。」 (tē proseuchē)

ローマ 12:12 望みを抱いて喜び、苦難に耐え、ひたすら祈りなさい。(tē proseuchē)

第1コリント 7:5 互いに相手を拒んではいけません。ただし、祈りに専心するために合意の上でしばらく離れていて、再び一緒になるというのならかまいません。これは、あなたがたの自制力の無さに乗じて、サタンがあなたがたを誘惑しないようにするためです。

ピリ 4:6 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。

コロサイ 4:2 たゆみなく祈りなさい。感謝をもって祈りつつ、目を覚ましていなさい。

。

1:16 「兄弟たち。イエスを捕らえた者たちを手引きしたユダについては、聖霊がダビデの口を通して前もって語った聖書のことばが、成就しなければなりませんでした。

@ダビデが詩篇で語った言葉は聖霊による預言である

@昇天からペンテコステまでの5つの出来事

- 1) まことの血を至聖所に
- 2) 父が血を受け取りすべての罪のあがないに足りるとした ()
- 3) 栄光の御座につかれた (黙示3 : 21) (ピリピ2 : 9)
- 4) 約束の聖霊を授けた (使徒2 : 33)
- 5) 聖霊を注いだ (使徒2 : 33) (ヨハネ7 : 39)

1:18 (このユダは、不義の報酬で地所を手に入れたが、真っ逆さまに落ちて、からだは真っ二つに裂け、はらわたがすべて飛び出してしまった。

@ (中川健一説) 当時、自殺者は神殿の城壁の上からケデロンの谷に死体を投げ捨てる習慣があった。城壁の上から谷底まで最大落差は90mあったゆえに、はらわたが裂けた。

1:19 このことは、エルサレムの全住民に知れ渡り、その地所は彼らの国のことばでアケルダマ、すなわち『血の地所』と呼ばれるようになっていた。

マタイ 27:6 祭司長たちは銀貨を取って、言った。「これは血の代価だから、神殿の金庫に入れることは許されない。」

27:7 そこで彼らは相談し、その金で陶器師の畑を買って、異国人のための墓地にした。

1:26 そして、二人のためにくじを引くと、くじはマッティアに当たったので、彼が十一人の使徒たちの仲間に加えられた。

1 2人目の使徒はマッテアかパウロか

2:2 すると天から突然、激しい風が吹いて来たような響きが起こり、彼らが座っていた家全体に響き渡った。

2:3 また、炎のような舌が分かれて現れ、一人ひとりの上にとどまった。

舌 = ◀ 1100. glóssa (グロッサ) 50回 ▶ 舌、言語、((新約聖書)異言)

@ 舌と異言はまったく同じスペリング = glössai (複数形)

2:4 すると皆が聖霊に満たされ、御霊が語らせるままに、他国のいろいろなことばで話し始めた。

2:17 『神は言われる。終わりの日に、わたしはすべての人^ににわたしの霊を注

ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、青年は幻を見、老人は夢を見る。

人=◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回▶体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

@終わりの日=A.D. 33以降

ヘブル 9:26 もし同じだとしたら、世界の基が据えられたときから、何度も苦難を受けなければならなかったでしょう。しかし今、キリストはただ一度だけ、世々の終わりに、ご自分をいけにえとして罪を取り除くために現れてくださいました。

@後の雨

ヤコブ 5:7 ですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は大地の貴重な実りを、初めの雨や後の雨が降るまで耐え忍んで待っています。

ヨエル 2:23 シオンの子らよ。あなたがたの神、【主】にあつて、楽しみ喜べ。主は、義のわざとして、初めの雨(4175)を与え、かつてのように、あなたがたに大雨を降らせ、初めの雨(7223)と後の雨を降らせてくださる。

初めの雨と後の雨=(改 2)先の雨と後の雨

秋の雨、春の雨と訳される場合があるが、それも正しい。原語ではその区別はない。

エレ 5:24 彼らは心の中でさえこう言わなかった。『さあ、私たちの神、【主】を恐れよう。主は大雨を、初めの雨と後の雨を、時にかなって与え、刈り入れのために定められた数週を守ってくださる』と。

ホセア 6:3 私たちは知ろう。【主】を知ることを切に追い求めよう。主は暁のように確かに現れ、大雨のように私たちのところに来られる。地を潤す、後の雨のように。

共) 6:3 我々は主を知ろう。主を知ることを追い求めよう。主は曙の光のように必ず現れ／降り注ぐ雨のように／大地を潤す春雨のように／我々を訪れてくださる。」

@後の雨=春の雨 先の雨=秋の雨

2:18 その日わたしは、わたしのしもべにも、はしためにも、わたしの霊を注ぐ。すると彼らは預言する。

2:19 また、わたしは上は天に不思議を、下は地にしるしを現れさせる。それは血と火と立ち上る煙。

2:20 主の大いなる輝かしい日が来る前に、太陽は闇に、月は血に変わる。

2:21 しかし、主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

2:25 ダビデは、この方について次のように言っています。『私はいつも、主を前にしています。主が私の右におられるので、私は揺るがされることはありません。

@主の霊によって語った (2サム23:2)

詩 139:5 あなたは前からうしろから私を取り囲み御手を私の上にかれました。

第2サム 23:2 「【主】の霊は私を通して語り、そのことばは私の舌の上にある。

詩 16:8 私はいつも【主】を前にしています。主が私の右におられるので私は揺るがされることがありません。

詩 139:5 あなたは前からうしろから私を取り囲み御手を私の上にかれました。

2:26 それゆえ、私の心は喜び、私の舌は喜びにあふれます。私の身も、望み

の中に住まいます。

身= ◀ 4561. sarx (サルクス) 149 回 ▶ 体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

@ 詩篇 16:9 それゆえ私の心は喜び私の胸は喜びにあふれます。私の身も安らかに住まいます。

(KJV) Therefore my heart is glad, and my glory rejoiceth: my flesh also shall rest in hope.

私の胸は= ◀ 3519. kabowd (כבוד) 200 回 ▶ 栄光

喜びにあふれます= ◀ 1523. gil (גיל) 45 回 ▶ (V)喜ぶ (google)で「尊重する、名誉」

喜びにあふれます= ◀ 21. agalliaó (アガリアオ) 11 回 ▶ 歓喜にあふれて喜ぶ

マタ 5:12 喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々は同じように迫害したのです。

ルカ 1:47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。

10:21 ちょうどそのとき、イエスは聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主であられる父よ、あなたをほめたたえます。あなたはこれらのことを、知恵ある者や賢い者には隠して、幼子たちに現してくださいました。そうです、父よ、これはみこころにかなったことでした。

ヨハ 5:35 ヨハネは燃えて輝くともしびであり、あなたがたはしばらく

くの間、その光の中で大いに喜ぼうとしました。

ヨハ 8:56 あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見るようになることを、大いに喜んでいました。そして、それを見て、喜んだのです。」

使 2:26 それゆえ、私の心は喜び、私の舌は喜びにあふれます。私の身も、望みの中に住まいます。

使 16:34 それから二人を家に案内して、食事のもてなしをし、神を信じたことを全家族とともに心から喜んだ。

第1 ペテ 1:6 そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならないのですが、

第1 ペテ 1:8 あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、栄えに満ちた喜びに躍っています。

第1 ペテ 4:13 むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。

黙 19:7 私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の婚礼の時が来て、花嫁は用意ができたのだから。

2:31 それで、後のことを予見し、キリストの復活について、『彼はよみに捨て置かれず、そのからだは朽ちて滅びることがない』と語ったのです。(体) ★

からだ=◀ 4561. sarx (サルクス) 149回▶体、肉体、魂の欲、人、人生(1 コリ 7:28)

@通常新改訳聖書四版ではソマを「からだ」と訳しサルクスを「体」と訳すことによって

住み分けているが使徒 2:31、ロマ 2:28、1 コリ 15:50、コロサイ 2:11 は例外で誤植ともいえるでしょう。

2:33 ですから、神の右に上げられたイエスが、約束された聖霊を御父から受けて、今あなたがたが目にし、耳にしている聖霊を注いでくださったのです。

@神の右の座 (ローマ 8:34) (使徒 2:33) (コロサイ 3:1) (ヘブル 10:12) (1 ペテロ 3:22)

右=親密さをあらわす。

ヨハネ 21:20) イエスの右側にいて = (共) イエスの胸もと に寄りかかったまま

2:34 ダビデが天に上ったのではありません。彼自身こう言っています。『主は、私の主に言われた。あなたは、わたしの右の座に着いていなさい。』

(改2)では『主は、私の主に言われた。・・・』以後を 35 章に入れる。

2:35 わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまで。』

ヘブル 10:13 あとは、敵がご自分の足台とされるのを待っておられます。

エペソ 1:22 また、神はすべてのものをキリストの足の下に従わせ、キリストを、すべてのものの上に立つかしらとして教会に与えられました。

ローマ 16:20 平和の神は、速やかに、あなたがたの足の下でサタンを踏み砕いてくださいます。どうか、私たちの主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますように。

詩篇 108:13 神にあつて私たちは力ある働きをします。神こそが私たちの敵を踏みつけてくださいます。

マラキ 4:3 あなたがたはまた、悪者どもを踏みつける。彼らは、わたしが事を行う日に、あなたがたの足の下で灰となるからだ。——万軍の【主】は言われる。

2:36 ですから、イスラエルの全家は、このことをはっきりと知らなければなりません。神が今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。

2:37 人々はこれを聞いて心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、「兄弟たち、私たちはどうしたらよいでしょうか」と言った。

@ 1) 聞いて 2) 心が刺された

2:38 そこで、ペテロは彼らに言った。「それぞれ罪を赦していただくために、悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。

@ 3) 悔い改め 4) バプテスマ 5) 聖霊

2:39 この約束は、あなたがたに、あなたがたの子どもたちに、そして遠くに

いるすべての人々に、すなわち、私たちの神である主が召される人ならだれにでも、与えられているのです。」

@この約束は現代にも有効です。

2:40 ペテロは、ほかにも多くのことばをもって証しをし、「この曲がった時代から救われなさい」と言って、彼らに勧めた。

勧めた = ◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回 ▶ (V) 呼びかける、勧める、助言する、奨励する、慰める、励ます
(N A S)(K J V) exhort . . .

英語の exhort の意味は「励ます」だが（意味は弱い）「訓戒する」という意味もある。しかし ◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回 ▶ には「訓戒する」という意味はなく「慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する」である。

訓戒するという意味でつかわれるギリシャ語は「◀ 3560. noutheteó (ヌセテオ) 8 回 ▶ (V) 訓戒する、忠告する」

使徒 20:31 ですから、私が三年の間、夜も昼も、涙とともにあなたがた一人ひとりを訓戒し続けてきたことを思い起こして、目を覚ましていなさい。

あるいは「◀ 3867. paraineó (パライネオ) 2 回 ▶ 訓戒する、警告する、忠告する、アドバイスする」

使徒 27:9 かなりの時が経過し、断食の日もすでに過ぎていたため、もはや航海は危険であった。そこでパウロは人々

に警告して、

ただしパライネオは KJV の使徒 27:22 では exhort と翻訳されている。

そして実際(改 4)でも

「27:22 しかし今、あなたがたに勧めます。元気を出さない。あなたがたのうち、いのちを失う人は一人もありません。失われるのは船だけです。」

と翻訳されています。

使 2:41 彼の**ことば**を受け入れた人々はバプテスマを受けた。その日、三千人ほどが**仲間**に加えられた。

@彼の言葉=み言葉

使徒 6:7 こうして、神のことばはますます広まっていき、エルサレムで弟子の数が非常に増えていった。また、祭司たちが大勢、次々と信仰に入った。

使徒 19:10 これが二年続いたので、アジアに住む人々はみな、ユダヤ人もギリシア人も主のことばを聞いた。

使徒 19:20 こうして、主のことばは力強く広まり、勢いを得ていった。

仲間=(改 2)弟子

三千人ほどが仲間に加えられた=約三千の魂が加えられた。

2:42 彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈

りをしていた。

いつも～していた＝◀ 4342. proskartereó (プラスカルテレオ) 10回▶ ひとつに固執、専念する

ある

場所ですっと続く

祈り＝◀ 4335. proseuché (プラスウヘィ)37回▶(N) 祈り (真剣な祈り) (語源は 4336. proseuchomai (普通に祈る))

2:43 すべての人に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議としるしが行われていた。

2:44 信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、

2:45 財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。

2:46 そして、毎日心の一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、

2:47 神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、救われる人々を加えて一つにしてください。

2:42 ①教えを守り、②交わりを持ち、③パンを裂き、④祈りをしていた。

2:43 ⑤恐れが生じ、⑥不思議としるしが行われていた。

2:44 一切の物を⑦共有し、

2:45 皆に⑧分配していた。

2:46⑨宮に集まり、⑩家々でパンを裂き、⑪食事をともにし、

2:47 神を⑫賛美し、民全体から⑬好意を持たれ、⑭救われる人々を加えて、
ください。

賛美し＝◀ 134. aineó (アイネオ) 8回▶ 賛美する

2:42 彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。

2:43 すべての人に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議とするしが行われていた。

2:44 信者となった人々はみな一つになって、一切の物を共有し、

2:45 財産や所有物を売っては、それぞれの必要に応じて、皆に分配していた。

2:46 そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、

2:47 神を賛美し、民全体から好意を持たれていた。主は毎日、救われる人々を加えて一つにしてくださった。

家の教会

第1 コリント 16:19 アジアの諸教会がよろしくと言っています。アキラとプリスカ、また彼らの家にある教会が、主にあって心から、あなたがたによろしくと言っています。

第2 テモ 3:6 彼らの中には、家々に入り込み、愚かな女たちをたぶらかしている者たちがいます。その女たちは様々な欲望に引き回されて罪に罪を重ね、

心を一つにして = ◀ 3661. Homothumadon (ハマセマダーン) 11 回 ▶ 一つの心で、一致をもって、一斉に

使徒 2:46 そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、

使徒 4:24 これを聞いた人々は心を一つにして、神に向かって声をあげた。「主よ。あなたは天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造られた方です。

使徒 使 7:57 人々は大声で叫びながら、耳をおおい、一斉にステパノに向かって殺到した

3:1 ペテロとヨハネは、午後三時の祈りの時間に宮に上って行った。

祈り = ◀ 4335. proseuché (プラスウヘィ)37 回▶(N) 祈り (語源は 4336. proseuchomai (祈る))

3:2 すると、生まれつき足の不自由な人が運ばれて来た。この人は、宮に入る人たちから施しを求めるために、毎日「美しの門」と呼ばれる宮の門に置いてもらっていた。

@置いてもらっていた (毎日来ていた、つれられてきていた)

@いつも集会に出席しているが主を求めているわけではない生ぬるい信者の型

3:8 躍り上がって立ち、歩き出した。そして、歩いたり飛び跳ねたりしながら、神を賛美しつつ二人と一緒に宮に入って行った。

賛美しつつ = ◀ 134. aineó (アイネオ) 8 回▶ 賛美する

3:9 人々はみな、彼が歩きながら神を賛美しているのを見た。

賛美している = ◀ 134. aineó (アイネオ) 8 回▶ 賛美する

3:13 アブラハム、イサク、ヤコブの神、すなわち私たちの父祖たちの神は、そのしもベイエスに栄光をお与えになりました。あなたがたはこの方を引き渡し、ピラトが釈放すると決めたのに、その面前でこの方を拒みました。

3:14 あなたがたは、この聖なる正しい方を拒んで、人殺しの男を赦免するよう
に要求し、

3:15 いのちの君を殺したのです。しかし、神はこのイエスを死者の中からよ
みがえらせました。私たちはそのことの証人です。

。

@ 「あなたがたは・・・ころした」

3:16 このイエスの名が、その名を信じる信仰のゆえに、あなたがたが今見て
知っているこの人を強くしました。イエスによって与えられる信仰が、この
人を皆さんの前で、このとおりに完全なからだにしたのです。

@御名を信じる信仰のゆえに＝ 信仰とはその名を信じること

@イエスによって与えられる信仰＝ 信仰とは与えられるもの

★

船の右側 2020 4 月 Vol.76 の記事より浅野淳博氏(関西学院大学神学部
教授)の講演内容

「クリストゥー」は「キリストス」という主語名詞が語尾変化して「キ
リストの」という属格名詞になったもので「ピステイス・クリストゥ
ー」を直訳すれば、「キリストの信頼性」になると説明。

今回の聖書協会共同訳では「キリストの真実」と訳している。

なお新共同訳で「キリストへの信仰」、新改訳 2017 で「キリストを信
じること」と訳されていることについては、文法上はそうとも訳し得
るとした。

★

Sower #46 2019 日本聖書協会

困難をどう乗り越えたか

(島先) 今度はすこし話題を変えまして、困難をどういうふうに乗り
越えたか、大変だったところに焦点を当てていきたいとおもうんです

けど。

(阿部) やっぱりピスティス問題ですよ。かなり遅くまで続いた議論だったと思う。初めの頃は、新約部会、訳語検討会とか、そういうレベルでは「信実」というのが圧倒的多数なのです。その頃もわたしは「信仰」で行くべきだという言い方をしていた。最終的に「真実」ということにした。ただ、そうすると、ロマ書で、どこまでを「真実」、どこからを「信仰」と訳さなきゃならないという問題が起きるんです。・・・

★

使徒 3:16 このイエスの名が、その名を信じる信仰のゆえに、あなたがたが今見て知っているこの人を強くしました。イエスによって与えられる信仰が、この人を皆さんの前で、このとおりに完全なからだにしたのです。

(KJV) the faith which is by him hath given him

(NKJ) the faith which comes through Him has given him

@御名を信じる信仰のゆえに＝ 信仰とはその名を信じること

@イエスによって与えられる信仰＝ 信仰とは与えられるもの

ロマ 3:22 すなわち、イエス・キリストを信じることによって、信じるすべての人に与えられる神の義です。そこに差別はありません。

(KJV) by faith of Jesus Christ (正しい)

(NKJ) by faith in Jesus Christ (間違い)

＝ (改4・欄外) イエス・キリストの真実(間違い)

TRとRVSのどちらも同じ意味

(TR) dia Pistis(4102) Iēsous(2424) Christos(5547) (by faith of Jesus Christ)(KJV) (RVS) (HUB) pisteōs Iēsou Christou (through faith from Jesus Christ)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ガラ 2:16 しかし、人は律法を行うことによってではなく、ただ①イエス・キリストを信じることによって義と認められると知って、私たちも②キリスト・イエスを信じました。律法を行うことによってではなく、③キリストを信じることによって義と認められるためです。というのは、肉なる者はだれも、律法を行うことによっては義と認められないからです。

キリストを信じることによって＝

(KJV) be justified by the faith of Chris (正しい)

(NKJ) be justified by faith in Christ (間違い)

①

(TR) dia pistis Iesous Christos (by the faith of Jesus Christ)(KJV)

(RVS) dia pisteos Christou ⇔ Iesou (through faith Christ ⇔ from Jesus)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

②

(TR) pisteou eis Iesous Christos (have believed in Jesus Christ)(KJV)

(RVS) eis Christon Iesoun episteusamen (in Christ Jesus have believed)(HUB)

③

(TR) ek pistis Christos (by the faith of Christ)(KJV), by faith in Chris(NKJ)

(RVS) ek pisteos Christou (by faith from Christ)(HUB)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ガラ 3:22 しかし聖書は、すべてのものを罪の下に閉じ込めました。それは約束が、イエス・キリストに対する信仰によって、信じる人たちに与えられるためでした。(ギ) Pistis(4102) Iēsous(2424) Christos(5547)=イエス・キリストの信仰

(KJV) by faith of Jesus Christ (正しい)

(NKJ) by faith in Jesus Christ (間違い)

(TR) ek pistis Iesous Christos (by faith of Jesus Christ)(KJV),

(RVS) pisteos Iesou Christou (by faith from Jesus Christ)(KJV)

(エターナル TR)イエスキリストへの信仰×

ピリピ 3:9 キリストにある者と認められるようになるためです。私は律法による自分の義ではなく、キリストを信じることによる義、すなわち、信仰に基づいて神から与えられる義を持つのです。

@正しくはキリストの信仰による

(KJV) but that which is through the faith of Christ (正しい)

(NKJ) but that which is through faith in Christ (間違い)

(ギ)(TR) Pistis(4102) Christos(5547)=キリストの信仰。(HUB) pisteōs Christou

3:19 ですから、悔い改めて神に立ち返りなさい。そうすれば、あなたがたの罪はぬぐい去られます。

神に」は補足

3:20 そして、主の御前から回復の時が来て、あなたがたのためにあらかじめキリストとして定められていたイエスを、主は遣わしてください。

そして=◀ 3704. Hopós (ハポス) 53 回▶意味：as, how, that、そうするなら

回復の時=(N)◀ 403. anapsuxis (アナプスキシス) 1 回▶息の吹き返し、さわやかさ、回復

(KJV) time of refreshing

(RV) tiempo de refrigerio

使徒「3:20 そして、主の御前から回復の時が来て、」の部分はKJVでは19節

主は遣わしてください=(改2) 主が遣わして下さるためなのです。

@ユダヤ人の悔い改の時=再臨のとき

3:21 このイエスは、神が昔からその聖なる預言者たちの口を通して語られた、万物が改まる時まで、天にとどまっていなければなりません。

いなければなりません=◀ 1163. Dei (ダイ) 104 回▶～しないとけない、～する必要がある

@ただし原文には「とどまる」に相当する単語はない。それでも「天」という言葉があるので、おそらく、「天に、ねばならない」という表現で十分なのかもしれない。

Dei の元の言葉は

つなぐ=◀ 1210. Deó(デオ) 43 回▶結ぶ、縛る、強いる、

駆り立てる、禁止を宣言する、
違法であると宣言する

3:21 このイエスは、神が昔からその聖なる預言者たちの口を通して語られた、
万物が改まる時まで、天に「とどまっていなければなりません」。

@(:19)悔い改めて(:20)くださるため(:21)とどまっていなければなりません。

@すなわちユダヤ人が悔い改めなければ主の再臨は無い

3:25 あなたがたは預言者たちの子であり、契約の子です。この契約は、神がアブラハムに『あなたの子孫によって、地のすべての民族は祝福を受けるようになる』と言って、あなたがたの父祖たちと結ばれたものです。

民族=◀ 3965. patria (パトリア) 3回▶家系、家族、血筋(ルカ 2:4)、民族(使徒 3:25)、部族

正しい訳は「家族」であろう。

理由は、引用元の創世記 12 : 3 に使われている単語(ミシュパハ)が「家族」の意味だから。

ただし、(改 2)(改四)では正しく訳されていない。

(引用元)創 12:3 わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」

ただし、部族=ミシュパハ◀ 4940. mishpachah (משפחה)ミシュパハ▶
は(全ての英訳で)家族

部族と訳されているのは 300 回中 2 回(Gen 12:3、28:14)、親戚は 1 回(ルツ 2:1)、家族は 293 回

現代語でもミシュパハ(משפחה)は家族を意味する単語

その他の個所では「家族」「血筋」

エペソ 3:15 天と地にあるすべての家族の、「家族」という呼び名の元である御父の前に祈ります。

ルカ 2:4 ヨセフも、ダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。

4:7 彼らは二人を真ん中に立たせて、「おまえたちは何の権威によって、また、だれの名によってあのようなことをしたのか」と尋問した。

4:8 そのとき、ペテロは聖霊に満たされて、彼らに言った。「民の指導者たち、ならびに長老の方々。

4:10 皆さんも、またイスラエルのすべての民も、知っていただきたい。この人が治ってあなたがたの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけ、神が死者の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの名によることです。

4:11 『あなたがた家を建てる者たちに捨てられた石、それが要の石となった』というのは、この方のことです。

4:12 この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人間に与えられていないからです。」

(新世界改訳) 12 さらに、ほかの誰も私たちを救うことはできません。地上の人々に与えられた名のうち、その方の名によってしか救いは得られません」。

@ (世) エホバのほかに(イザヤ 43:11) (ホセア 13:4) (イザヤ 45:11)

イザ 43:11 わたし、このわたしが【主】であり、ほかに救い主はいない。

イザ 45:11 イスラエルの聖なる方、これを形造った方、【主】はこう言われる。「これから起こることを、わたしに尋ねよ。わたしの子たちについて、またわたしの手のわざについて、あなたはわたしに命じるのか。

ホセ 13:4 しかしわたしは、エジプトの地にいたときから、あなたの神、【主】である。あなたはわたしのほかに神を知らない。わたしのほかに救う者はいない。

@その名によって罪の赦しが (ルカ 24:47)

4:13 彼らはペテロとヨハネの大胆さを見、また二人が無学な普通の人であるのを知って驚いた。また、二人がイエスとともにいたのだということも分かってきた。

普通の人 = ◀ 2399. idiótés (イディオテス) 5回 ▶ 素人、プロではない人、才能のない人

第2コリント 11:6 話し方は素人でも、知識においてはそうではありません。私たちはすべての点で、あらゆる場合に、そのことをあなたがたに示してきました。

@わかって来た = 油注ぎを知った (2列王 2:15)

4:14

癒す = ◀ 2323. therapeuó (セラプオ) 43回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕

える(Acts17:25)

4:16 「あの者たちをどうしようか。あの者たちによって著しいしるしが行われたことは、エルサレムのすべての住民に知れ渡っていて、われわれはそれを否定しようもない。

4:19 しかし、ペテロとヨハネは彼らに答えた。「神に聞き従うよりも、あなたがたに聞き従うほうが、神の御前に正しいかどうか、判断してください。

使徒 5:29 しかし、ペテロと使徒たちは答えた。「人に従うより、神に従うべきです。

使 4:21 そこで彼らは、二人をさらに脅したうえで釈放した。それは、皆の者がこの出来事のゆえに神をあがめていたので、人々の手前、二人を罰する術がなかったからである。

4:24 これを聞いた人々は心を一つにして、神に向かって声をあげた。「主よ。あなたは天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造られた方です。

心を一つにして= ◀ 3661. Homothumadon (ハマセマダーン) 11回 ▶ 一つの心で、一致をもって、一斉に

使徒 2:46 そして、毎日心を一つにして宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、

使徒 4:24 これを聞いた人々は心を一つにして、神に向かって声をあげた。「主よ。あなたは天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造られた方です。

使徒 使 7:57 人々は大声で叫びながら、耳をおおい、一斉にステパノに向かって殺到した

4:25 あなたは聖霊によって、あなたのしもべであり私たちの父であるダビデの口を通して、こう言われました。『なぜ、異邦人たちは騒ぎ立ち、もろもろの国民はむなしいことを企むのか。』

騒ぎ立ち = (V) ◀ 5433. phruassó (フルアソ) 1回 ▶ 無作法になる、激動する、高慢になる

4:29 主よ。[今]、彼らの脅かしをご覧になって、しもべたちにあなたのみことばを大胆に語らせてください。

しもべ = ◀ 1401. doulos (デュラス) 126回 ▶ 奴隷、しもべ

4:31 彼らが祈り終わると、集まっていた場所が揺れ動き、一同は聖霊に満たされ、神のことばを大胆に語り出した。

祈り = ◀ 1189. deomai (デオマイ) 22回 ▶ (V) 祈る、お願いする、懇願する (2コリ 8:4)、しきりに願う (ルカ 8:38)

懇願する

II コリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。

しきりに願う

ルカ 8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいとしきりに願った。しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

4:33 使徒たちは、主イエスの[復活]を大きな力をもって証しし、大きな恵みが彼ら全員の上にあった。

@復活をあかしし、

4:36 キプロス生まれのレビ人で、使徒たちにバルナバ（訳すと、慰めの子）と呼ばれていたヨセフも、

5:3 すると、ペテロは言った。「アナニア。なぜあなたはサタンに心を奪われて聖霊を欺き、地所の代金の一部を自分のために取っておいたのか。

5:4 売らないでおけば、あなたのものであり、売った後でも、あなたの自由になったではないか。どうして、このようなことを企んだのか。あなたは人を欺いたのではなく、神を欺いたのだ。」

5:5 このことばを聞くと、アナニアは倒れて息が絶えた。これを聞いたすべての人たちに、大きな恐れが生じた。

@初代教会において最初に神が直接取り扱った問題は盗みや性的な罪ではなく「真実」が問題であった。

5:7 さて、三時間ほどたって、アナニアの妻がこの出来事を知らずに入って来た。

5:8 ペテロは彼女に言った。「あなたがたは地所をこの値段で売ったのか。私に言いなさい。」彼女は「はい、その値段です」と言った。

5:9 そこでペテロは彼女に言った。「なぜあなたがたは、心を合わせて主の御霊を試みたのか。見なさい。あなたの夫を葬った人たちの足が戸口まで来ている。彼らがあなたを運び出すことになる。」

5:10 すると、即座に彼女はペテロの足もとに倒れて、息絶えた。入って来た若者たちは、彼女が死んでいるのを見て運び出し、夫のそばに葬った。

5:11 そして、教会全体と、このことを聞いたすべての人たちに、大きな**恐れ**が生じた。

5:12 さて、使徒たちの手により、多くのしるしと不思議が人々の間で行われた。皆は心を一つにしてソロモンの回廊にいた。

@主への恐れが生じるところに、奇跡の業も

@ソロモンの廊 = 唯一自由にあつまることができた場所 (だったらしい)

5:13 ほかの人たちはだれもあえて彼らの仲間に加わろうとはしなかったが、民は彼らを尊敬していた。

尊敬していた = ◀ 3170. megalunó (メガルノ) 8 回 ▶ 偉大にする、偉大だと宣言する、大きくする、賛美する

5:14 そして、主を信じる者たちはますます増え、男も女も大勢になった。

5:15 そしてついには、病人を大通りへ運び出し、寝台や寝床の上に寝かせて、ペテロが通りかかるときには、せめてその影だけでも、病人のだれかにかかるようにするほどになった。

◀ 5087. tithémi (ティセミ) 100 回 ▶ 置く

5:16

癒す = ◀ 2323. therapeuó (、仕える(Acts17:25)) 43 回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する

5:16 また、エルサレム付近の町々から大勢の人が、病人や、汚れた霊に苦しめられている人々を連れて集まって来た。その人々はみな癒やされた。

@全部が癒された

@ (19 : 12) においてパウロも同じような奇跡を行った

5:29 しかし、ペテロと使徒たちは答えた。「人に従うより、神に従うべきです。

使徒 4:19 しかし、ペテロとヨハネは彼らに答えた。「神に聞き従うよりも、あなたがたに聞き従うほうが、神の御前に正しいかどうか、判断してください。

5:30 私たちの父祖の神は、あなたがたが木にかけて殺したイエスを、よみがえらせました。

木 = ◀ 3586. Xulon (クスラン) 20 回 ▶ 木

(改 2) 十字架 (NAS)cross、(KJV)(INT)tree

5:41 使徒たちは、御名のために辱められるに値する者とされたことを喜びながら、最高法院から出て行った。

6:1 そのころ、弟子の数が増えるにつれて、ギリシア語を使うユダヤ人たちから、ヘブル語を使うユダヤ人たちに対して苦情が出た。彼らのうちのやもめたちが、毎日の配給においてなおざりにされていたからである。

@弟子たち = 単なる信者ではなく弟子達の問題

@問題の解決 1) 問題の大きさを測る e t c。。

6:3 そこで、兄弟たち。あなたがたの中から、御霊と知恵に満ちた、評判の良い人たちを七人選びなさい。その人たちにこの務めを任せることにして、

@

良いあかし

(テトス 2 : 6 - 8) 2:6 同じように、若い人々には、思

慮深くあるように勧めなさい。

聖霊の満たし＝

(エペソ 5:18) また、酒に酔ってははいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。)

知恵＝

(ヤコブ 1:5 あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきっと与えられます。

@人々がただ座っているところには不満しかない、仕えている人は仕えている人に文句を言わないものである。

6:4 私たちは祈りと、みことばの奉仕に専念します。」

祈り＝◀ 4335. proseuché (プラスウヘィ)37回▶(N) 祈り (真剣な祈り) (語源は 4336. proseuchomai (普通に祈る))

@祈りとみことばの奉仕＝もっとも大切なこと

6:6 この人たちを使徒たちの前に立たせた。使徒たちは祈って、彼らの上に手を置いた。

@手を置く＝権威を与える

6:7 こうして、神のことばはますます広まっていき、エルサレムで弟子の数が非常に増えていった。また、祭司たちが大勢、次々と信仰に入った。

@ますます広まっていき＝使徒をミニストリーに専念させた結果

6:10 しかし、彼が語るときの知恵と御霊に対抗することはできなかった。

6:15 最高法院で席に着いていた人々が、みなステパノに目を注ぐと、彼の顔は御使いの顔のように見えた。

@ステパノ=小さいことに忠実であった。

(ルカ 16:10 最も小さなことに忠実な人は、大きなことにも忠実であり、最も小さなことに不忠実な人は、大きなことにも不忠実です。

7:9 族長たちはヨセフをねたんで、彼をエジプトに売りとばしました。しかし、神は彼とともにおられ、

@キーワード (ねたみ)

7:13 二度目のとき、ヨセフは兄弟たちに自分のことを打ち明け、ヨセフの家族のことがファラオに明らかになりました。

@二度目のとき

7:19 この王は、私たちの同胞に対して策略をめぐらし、私たちの先祖たちを苦しめて幼子を捨てさせ、生かしておけないようにしました。

策略をめぐらし=◀ 2686. katasophizomai (カタサフィザマイ) 1 回▶

Definition: to deal craftily with

(RV)賢くも = (共) あざむき

7:38 また、モーセは、シナイ山で彼に語った御使いや私たちの先祖たちとともに、荒野の集会にいて、私たちに与えるための生きたみことばを授かりました。

集会=◀ 1577. ekklésia 114 回▶ 教会、(NAS)congregation (KJV)church (改

4)集会

生きたみことば= ◀ 3051. logion (ロギオン) 4回 ▶ 発声された言葉+ ◀ 2198. Zaó (ザオ) 141回 ▶ (V)生きた

ロマ 3:2 あらゆる点から見て、それは大いにあります。第一に、彼らは神の **ことば** を委ねられました。

ヘブル 5:12 あなたがたは、年数からすれば教師になっていなければならぬにもかかわらず、神が **告げたことば** の初歩を、もう一度だれかに教えてもらう必要があります。あなたがたは固い食物ではなく、乳が必要になっています。

第1 ペテ 4:11 語るのであれば、神の **ことば** にふさわしく語り、奉仕するのであれば、神が備えてくださる力によって、ふさわしく奉仕しなさい。すべてにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです。この方に栄光と力が世々限りなくありますように。アーメン。

@生けるみことば= (共) いのちの言葉

@律法は靈的なものである= (ローマ7 : 14)

7:43 あなたがたは、モレクの幕屋と神ライパンの星を担いでいた。それらは、あなたがたが拝むために造った像ではないか。わたしはあなたがたを、バビロンのかなたへ捕らえ移す。』

◀ 4352. proskuneó (プラスクネーオ) 60回 ▶ (一般的な礼拝を意味する単語) 礼拝する、敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく

7:46 ダビデは神の前に恵みをいただき、ヤコブの家のために、幕屋のとどまるところを求めました。

幕屋 = ◀ 4638. skénóma 3 回 ▶ Definition: a tent

Usage: a tent pitched, a dwelling, tabernacle.

第2ペテロ 1:13 それを思い起こさせて、あなたがたを奮い立たせることを、私は地上の幕屋にいるかぎり、なすべきだと思っています。

第2ペテロ 1:14 私たちの主イエス・キリストが示してくださったように、私はこの幕屋を間もなく脱ぎ捨てることを知っています。

7:48 しかし、いと高き方は、手で造った家にはお住みになりません。預言者が語っているとおりです。

@ (イザヤ 66:1) 主はこう仰せられる。「天はわたしの王座、地はわたしの足台。わたしのために、あなたがたの建てる家は、いったいどこにあるのか。わたしのいこいの場は、いったいどこにあるのか。

(1列 8:17) それで私の父ダビデは、イスラエルの神、主の名のために宮を建てることをいつも心がけていた。

7:51 うなじを固くする、心と耳に割礼を受けていない人たち。あなたがたは、いつも聖霊に逆らっています。あなたがたの先祖たちが逆らったように、あなたがたもそうしているのです。

@ この節からステパノの口調が分岐点となる

@ (コロサイ 2:11) キリストにあって、あなたがたは人の手によらない割礼を受けました。肉のからだを脱ぎ捨て、キリストの割礼を受けたのです。

7:52 あなたがたの先祖たちが迫害しなかった預言者が、だれかいたでしょうか。彼らは、正しい方が来られることを前もって告げた人たちを殺しましたが、今はあなたがたが、この正しい方を裏切る者、殺す者となりました。

@宗教の霊は過去における主の御業を歓迎するが現在の業を拒絶する。

7:53 あなたがたは御使いたちを通して律法を受けたのに、それを守らなかったのです。」

(改2)の注釈に(申 33:2 七十人訳によるとあるが、御使いによって与えられたという根拠は不明)

7:54 人々はこれを聞いて、はらわたが煮え返る思いで、ステパノに向かって歯ぎしりしていた。

@歯ぎしり=宗教の霊 宗教の霊は過去における主の御業を歓迎するが現在の御業を拒否する

7:55 しかし、聖霊に満たされ、じっと天を見つめていたステパノは、神の栄光と神の右に立っておられるイエスを見て、

@ステパノは敵対者を見ないで主を見上げた

7:57 人々は大声で叫びながら、耳をおおい、一斉にステパノに向かって殺到した

一斉に= ◀ 3661. Homothumadon (ハマセマダーン) 11 回 ▶ 一つの心で、一致をもって、一斉に

使徒 1:14 彼らはみな、女たちとイエスの母マリア、およびイエスの兄弟たちとともに、いつも **心を一つにして** 祈っていた。

使徒 2:46 そして、毎日 **心を一つにして** 宮に集まり、家々でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、

使徒 4:24 これを聞いた人々は **心を一つにして**、神に向かって声をあげた。「主よ。あなたは天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造られた方です。

7:58 そして彼を町の外に追い出して、石を投げつけた。証人たちは、自分たちの上着をサウロという青年の足もとに置いた。

使 22:20 また、あなたの証人ステパノの血が流されたとき、私自身もその場において、それに賛成し、彼を殺した者たちの上着の番をしていたのです。』

@タルムードには当時の処刑の様子が書かれている。法廷の扉の前に旗を持った男が立ち、新証人が現れたら旗を振って合図して、処刑を止める。「旗」 = (へ) スーダロ = 着物。したがってパウロは単なる着物の見張り人ではなく、検事としての地位に立っていた。

7:59 こうして彼らがステパノに石を投げつけていると、ステパノは **主を** 呼んで言った。「主イエスよ、私の霊をお受けください。」

主を = 原文にはない。

主イエス = (TR) Kyrios Iēsous、(RVS) Kyrie Iēsou、

◀ 2962. Kurios(キュリオス) 722 回 ▶ 主

(新世) 59 そして、訴えながら*、「主イエスよ、わたしの霊をお受けください+」と言うステファノに向かって、彼らは石を投げつけた。

7:60 そして、ひざまずいて大声で叫んだ。「**主よ**、この罪を彼らに負わせないでください。」こう言って、彼は眠りについた。

主よ=(TR) Kyrios、(RVS) Kyrie 59節の主と60節の主は原文には違くない。

(新世) 60 それから彼はひざをかがめ、強い声で、「**エホバ*よ**、この罪を彼らに負わせないでください」と叫んだ+。そして、そう言うってから、**[死の]**眠りについた。

エホバの証人ではギリシャ語聖書では主 (Kyrios) と書かれた箇所をエホバに書き換えることの根拠として、①ギリシャ語は原本ではなくヘブライ語にはテトラグラマトン(YHWH)で書かれていたからであるから、としています。しかし、この説明のおかしい点は、マタイやマルコはともかく、ギリシャ語で書かれていたと思われるルカ、使徒にまで適応していることです。②二つ目の根拠は、実際、多くの他の言語への翻訳で新約聖書であっても神の名 (Yehova) が記されているものが見られるから。というものがある。この説明がおかしい理由は、その一例として記されている場所は (使徒 2:34=詩 110:1) や (マルコ 12:29-30=申命 6:4-5)のように旧約聖書からの引用の箇所であり、引用元は当然テトラグラマトン(YHWH)で書かれているからです。

8:1 サウロは、ステパノを殺すことに賛成していた。その日、エルサレムの教

会に対する激しい迫害が起こり、使徒たち以外はみな、ユダヤとサマリアの諸地方に散らされた。

その日=ペンテコステから7年の後

8:4 散らされた人たちは、みことばの福音を伝えながら巡り歩いた。

8:5 ピリポはサマリアの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。

8:6 群衆はピリポの話聞き、彼が行っていたしるしを見て、彼が語ることに、そろって関心を抱くようになった。

@そろって=◀ 3661. Homothumadon (ハマセマダーン) 11回▶ 一つの心で、一致をもって、一斉に
=(7:57)いっせいに =心をひとつにして

8:7 汚れた霊につかれた多くの人たちから、その霊が大声で叫びながら出て行き、中風の人や足の不自由な人が数多く癒やされたからである。

癒やされた=◀ 2323. therapeuó (セラプオ) 43回▶癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

使徒 17:25 のみ「仕える」ただし KJV では worship する
名詞の◀ 2324. Therapón (セラポン) 1回▶は「しもべ、
atendant, minister」の意味

8:9 ところで、以前からその町にはシモンという名の人がいた。彼は魔術を行ってサマリアの人々を驚かせ、自分は偉大な者だと話していた。

8:13 シモン自身も信じてバプテスマを受けると、いつもピリポにつき従って、しるしと大いなる奇跡が行われるのを見ては驚いていた。

@聖霊が働くところに魔術の霊も引き寄せられる。

カリスマ教会が魔術の霊に混乱させられるの事があるのはそのためである。

8:22 だから、この悪事を悔い改めて、主に祈れ。もしかしたら、心に抱いた思いが赦されるかもしれない。

◀ 1189. deomai (デオマイ) 22 回 ▶ (V) 祈る、お願いする、懇願する(2コリ 8:4)、しきりに願う(ルカ 8:38)

8:23 おまえが苦い悪意と、不義の束縛の中にいることが、私には見えるのだ。」

束縛 = ◀ 4886. Sundesmos (スンデスマス) 4 回 ▶ 結び、絆、束縛

使 8:23 おまえが苦い悪意と、不義の束縛の中にいることが、私には見えるのだ。」

エペ 4:3 平和の絆で結ばれて、御霊による一致を熱心に保ちなさい。

コロ 2:19 かしらにしっかり結びつくことをしません。このかしらのもとになって、からだ全体は節々と筋によって支えられ、つなぎ合わされ、神に育てられて成長していくのです。

コロサイ 3:14 そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全です。

8:24 シモンは答えた。「あなたがたが言ったことが何一つ私の身に起こらないように、私のために主に祈ってください。」

祈れ、祈ってください = ◀ 1189.(デオマイ) deomai 22 回 ▶ 祈る、お願いする、懇願する

懇願する

Ⅱ コリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。

しきりに願う

ルカ 8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいとしきりに願った。しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

8:26 さて、主の使いがピリポに言った。「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」そこは荒野である。

@御使いによる導き

@時には神自身が語る(9:5)がそれでも(9:5)にあるように人の声(アナニア)を通じて語る。

8:27 そこで、ピリポは立って出かけた。すると見よ。そこに、エチオピア人の女王カンダケの高官で、女王の全財産を管理していた宦官のエチオピア人がいた。彼は礼拝のためエルサレムに上り、

礼拝のため= ◀ 4352. proskuneó (プロスクネーオ) 60回 ▶ (一般的な礼拝を意味する単語) 礼拝する、敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく

8:31 するとその人は、「導いてくれる人がいなければ、どうして分かるでしょうか」と答えた。そして、馬車に乗って一緒に座るよう、ピリポに頼んだ。

頼んだ= ◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109回 ▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する、

8:34 宦官はピリポに向かって言った。「お尋ねしますが、預言者はだれについてこう

言っているのですか。自分についてですか。それとも、だれかほかの人についてですか。」

お尋ねしますが= ◀ 1189.(デオマイ) deomai 22回 ▶ 祈る、お願いする、懇願する

懇願する

Ⅱ コリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。

しきりに願う

ルカ 8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいとしきりに願った。しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

8:37 ((改4)欄外) 異本に37節として【そこでピリポは言った。「もしあなたが心底から信じるならば、よいのです。」すると彼らは答えていった。「私は、イエス・キリストが神の御子であると信じます。」】を加えるものがある。

@(TR)との代表的な異なる部分。

9:1 さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅かして殺害しようと息巻き、大祭司のところに行って、

9:2 ダマスコの諸会堂宛ての手紙を求めた。それは、この道の者であれば男でも女でも見つけ出し、縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。

@パウロは宗教的、政治的に高い地位にいた。

(使徒 22:20 また、あなたの証人ステパノの血が流されたとき、私自身もその場において、それに賛成し、彼を殺した者たちの上着の番をしていたのです。』

9:4 彼は地に倒れて、自分に語りかける声を聞いた。「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。」

9:5 彼が「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。

(TR)はこの5節の後ろに、「とげに向かって蹴るのは、あなたにとって、厳しいことです。」を挿入。

(TR)はこの6節の前に「彼はおののきながら、また、驚きながら言った「主よ私がどうすることを願っておられるのですか？」すると主は彼に向かって言われた」を挿入する。

9:6 立ち上がって、町に入りなさい。そうすれば、あなたがしなければならないことが告げられる。」

@あなたがしなければならないことが告げられる。=我々の働きは人の声によって導かれる

9:12 彼は幻の中で、アナニアという名の人が入って来て、自分の上に手を置き、再び見えるようにしてくれるのを見たのです。」

@サウロは目が見えないにもかかわらず見ていた。

エゼキエル 12:27 「人の子よ。今、イスラエルの家は言っている。『彼が見ている幻はずっと後のことについてであり、はるか遠い将来について預言しているのだ。』

@預言=見ること

9:28 サウロはエルサレムで使徒たちと自由に行き来し、主の御名によって大胆に語った。

使徒たちと=(改2)弟子たちと。(ギ)彼らと

9:31 こうして、教会はユダヤ、ガリラヤ、サマリアの全地にわたり築き上げられて平安を得た。主を恐れ、聖霊に励まされて前進し続け、信者の数が増えていった。

励まされて= ◀ 3874. paraklésis (パラクレシス) 29 回▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、慰め、勧め

9:33 そこで彼は、アイネアという名で、八年間床についている(2621)人に出会った。彼は中風であった。

床についている= ◀ 2621. katakeimai (カタカマイ) 12 回▶ (大)横になる、寝ている、(小)食卓に着く

9:34 ペテロは彼に言った。「アイネア、イエス・キリストがあなたを癒やしてくださいます。立ち上がりなさい。そして自分で床を整えなさい。」すると、彼はただちに立ち上がった。

癒やす= ◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27 回▶ (肉体を)癒す (救いという意味はない)

9:35 リダとシャロンに住む人々はみなアイネアを見て、主に立ち返った。

◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励す

使 9:38 リダはヤッファに近かったので、ペテロがそこにいると聞いた弟子たちは、人を二人、彼のところに遣わして、「私たちのところまで、すぐ来てください」と頼んだ。

10:2 彼は敬虔な人で、家族全員とともに神を恐れ、民に多くの施しをし、いつも神に祈りをささげていた。

祈りをささ= ◀ 1189. deomai (デオマイ) 22回 ▶ (V) 祈る、お願いする、懇願する (2 コリ 8:4)、しきりに願う (ルカ 8:38)

しきりに願う

ルカ 8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいとしきりに願った。
しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

懇願する

Ⅱ コリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。

10:3 ある日の午後三時ごろ、彼は幻の中で、はっきりと 神の御使いを見た。その御使いは彼のところに来て、「コルネリウス」と呼びかけた。

@御使いが預言

10:4 彼は御使いを見つめていたが、恐ろしくなって言った。「主よ、何でしょうか。」すると御使いは言った。「あなたの祈りと施しは神の御前に上って、覚えられています。

祈り = ◀ 4335. proseuché (プラスウヘィ) 37回 ▶ (N) 祈り (真剣な祈り) (語源は 4336. proseuchomai (普通に祈る))

10:5 さあ今、ヤッフアに人を遣わして、ペテロと呼ばれているシモンという人を招きなさい。 ■

@ ■ にこの言葉があったことであろう

使徒 11:14 その人が、あなたとあなたの家の者たち全員を救うことばを、あなたに話してくれます。』

10:6 その人は、シモンという皮なめし職人のところに泊まっています。その家は海辺にあります。」

10:10 彼は空腹を覚え、何か食べたいと思った。ところが、人々が食事の用意をしているうちに、彼は夢心地になった。

夢心地になった = ◀ 1611. Ekstasis (エクスタシス) 7回 ▶

驚いた (マルコ 5:42) (使徒 3:10)。

気も動転していた (マルコ 16:8)。驚くべき(ルカ 5:26)、夢心地になる(使徒 10:10)(使徒 11:5)(使徒 22:17)

@これは異邦人への伝道の掲示であって食物規定の廃棄の指示ではない。

10:15 すると、もう一度、声が聞こえた。「神がきよめた物を、あなたがきよくないと言ってはならない。」

テトス 1:15 きよい人たちには、すべてのものがきよいのです。しかし、汚れた不信仰な人たちには、何一つきよいものはなく、その知性も良心も汚れています。

第1コリント 10:25 市場で売っている肉はどれでも、良心の問題を問うことをせずに食べなさい。

第1コリント 10:27 あなたがたが、信仰のないだれかに招待されて、そこに行きたいと思うときには、自分の前に出される物はどれも、

良心の問題を問うことをせずに食べなさい。

第1 テモテ 4:4 神が造られたものはすべて良いもので、感謝して受けるとき、捨てるべきものは何也没有ません。

10:23 それでペテロは、彼らを迎え入れて泊ませた。翌日、ペテロは立って、彼らと一緒に出かけた。ヤッファの兄弟たちも数人同行した。

@数人同行した=証のため（異邦人との交際に関する）

10:24 そして次の日、ペテロはカイサリアに着いた。コルネリウスは、親族や親しい友人たちを呼び集めて、彼らを待っていた。

@つまり、彼らの到着を知らせる連絡網があり、すぐにコルネリオに報告され、人々が集められた。

10:25 ペテロが着くと、コルネリウスは迎えに出て、足もとにひれ伏して拝んだ。

ひれ伏して= ◀ 4098. piptó (ピプト) 91 回 ▶ 落ちる、降りる、ひれ伏す

拝んだ= ◀ 4352. proskuneó (プロスクネーオ) 60 回 ▶ （一般的な礼拝を意味する単語）礼拝する、敬意を払う、（畏敬をもって手に）キスする、ひざまづく

10:27 そして、コルネリウスとことばを交わしながら家に入り、多くの人が集まっているのを見て、

10:28 その人たちにこう言った。「ご存じのとおり、ユダヤ人には、外国人と交わったり、外国人を訪問したりすることは許されていません。ところが、神は私に、どんな人のことも、きよくない者であるとか汚れた者であるとか言うてはならないことを、示してくださいました。

10:31 こう言いました。『コルネリウス。あなたの祈りは聞き入れられ、あなたの施しは神の前に覚えられています。

祈り = ◀ 4335. proseuché (プラスウヘィ)37回▶(N) 祈り (真剣な祈り) (語源は 4336. proseuchomai (普通に祈る))

10:33 それで、私はすぐにあなたのところに人を送ったのです。ようこそおいでくださいました。今、私たちはみな、主があなたにお命じになったすべてのことを伺おうとして、神の御前に出ております。』

神の御前に出ております = (改 2) みな神の御前に出ております

10:38 それは、ナザレのイエスのことです。神はこのイエスに聖霊と力によって油を注がれました。イエスは巡り歩いて良いわざを行い、悪魔に虐げられている人たちをみな癒やされました。それは神がイエスとともにおられたからです。

癒やす = ◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回▶ (肉体を) 癒す (救いという意味はない)

@キリストを通して神をあらわす。

10:39 私たちは、イエスがユダヤ人の地とエルサレムで行われた、すべてのことの証人です。人々はこのイエスを木にかけて殺しましたが、

10:41 民全体にではなく、神によって前もって選ばれた証人である私たちに現れたのです。私たちは、イエスが死者の中からよみがえられた後、一緒に食べたり飲んだりしました。

食べたり飲んだりしました = (改 2) 食事をしました。

◀ 4906. sunesthió(スンシオ) 5回▶一緒に食べる @誰かと一緒に食べる
ことが強調されている単語

◀ 4844. sumpino (スンピノ) 1回▶一緒に飲む

10:41 民全体にはではなく、神によって前もって選ばれた証人である私たちに現れたのです。私たちは、イエスが死者の中からよみがえられた後、一緒に食べたり飲んだりしました。

10:42 そしてイエスは、ご自分が、生きている者と死んだ者のさばき主として神が定めた方であることを、人々に宣べ伝え、証しするように、私たちに命じられました。

10:43 預言者たちもみなイエスについて、この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられると、証ししています。」

10:44 ペテロがなおもこれらのことを話し続けていると、みことばを聞いていたすべての人々に、聖霊が下った。

10:45 割礼を受けている信者で、ペテロと一緒に来た人たちは、異邦人にも聖霊の賜物が注がれたことに驚いた。

@異邦人の救いの預言

(詩篇 87:6 【主】が「この者はこの都で生まれた」と記して国々の民を登録される。セラ

(改 2)87:6 主が国々の民を登録されるとき、「この民はここで生まれた。」とするされる。セラ

@ (アモス 9:11 その日、わたしは倒れているダビデの仮庵を起こす。その破れを繕い、その廢墟を起こし、昔の日のようにこれを建て直す。

(使徒 15:16 『その後、わたしは倒れているダビデの仮庵を再び建

て直す。その廃墟を建て直し、それを堅く立てる。

イザヤ 42:6 「わたし、【主】は、義をもってあなたを召し、あなたの手を握る。あなたを見守り、あなたを民の契約として、国々の光とする。

ルカ 2:31 あなたが万民の前に備えられた救いを。 2:32 異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの栄光を。」

@イザヤ 49:6 主は言われる。「あなたがわたしのしもべであるのは、ヤコブの諸部族を立たせ、イスラエルのうちの残されている者たちを帰らせるという、小さなことのためだけではない。わたしはあなたを国々の光とし、地の果てにまでわたしの救いをもたらす者とする。」

使徒 13:47 主が私たちに、こう命じておられるからです。『わたしはあなたを異邦人の光とし、地の果てにまで救いをもたらす者とする。』

13:48 異邦人たちはこれを聞いて喜び、主のことばを賛美した。そして、永遠のいのちにあずかるように定められていた人たちはみな、信仰に入った。

10:46 彼らが異言を語り、神を賛美するのを聞いたからである。するとペテロは言った。

Glössais 異言 = ◀ 1100. Glóssa (グロッサ) 50 回 ▶ 言葉、舌 (異言)

英語では *tongues* と書くだけで「異言」と「ことば」、あるいは「舌」の区別はない

賛美する = ◀ 3170. megalunó (メガルノ) 8 回 ▶ 偉大にする、偉大だと宣言する、あがめる、大きくする、賛美する

11:2 そこで、ペテロがエルサレムに上って来たとき、割礼を受けている者たちが、彼を非難して、

@リーダーからの訓戒ではなく下からの突き上げ、ペテロは使徒なので言われる筋合いは無い

11:3 「あなたは割礼を受けていない者たちのところに行って、彼らと一緒に食事をした」と言った。

一緒に食事をした = ◀ 4906. sunesthió(スンシオ) 5回 ▶ 一緒に食べる @誰かと一緒に食べるのが強調の単語

11:14 その人が、あなたとあなたの家の者たち全員を救うことばを、あなたに話してくれます。』

使 11:18 人々はこれを聞いて沈黙した。そして「それでは神は、いのちに至る悔い改めを異邦人にもお与えになったのだ」と言って、神をほめたたえた。

ほめたたえる = ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

11:23 バルナバはそこに到着し、神の恵みを見て喜んだ。そして、心を堅く保っていつも主にとどまっているようにと、皆を励ました。

励ました = ◀(V) 3870. Parakaleó (パラカレオ) 109回 ▶ 励ます、慰める、願ひする、懇願する

慰める・マタイ 5:4 悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められる

からです。

懇願する・マタ 8:5 イエスがカペナウムに入られると、一人の百人隊長がみもとに来て懇願し、

@バルナバは励ます人である。彼はアンテオケにある問題には目をくれずに、良い点を見て励ましを与えた。

11:26 彼を見つけて、アンティオキアに連れて来た。彼らは、まる一年の間教会に集い、大勢の人たちを教えた。弟子たちは、アンティオキアで初めて、キリスト者と呼ばれるようになった。

キリスト者= ◀ 5546. Christianos (フリスティアナース) 3 回 ▶ クリスチャン

第 1 ペテロ 4:16 しかし、キリスト者として苦しみを受けるのなら、恥じることはありません。かえって、このことのゆえに神をあがめなさい。

使 26:28 するとアグリッパはパウロに、「おまえは、わずかな時間で私を説き伏せて、キリスト者にしようとしている」と言った。

11:27 そのころ、預言者たちがエルサレムからアンティオキアに下って来た。

11:28 その中の一人の名をアガボという人が立って、世界中に大飢饉が起こると御霊によって預言し、それがクラウディウス帝の時に起こった。

11:29 弟子たちは、それぞれの力に応じて、ユダヤに住んでいる兄弟たちに救援の物を送ることに決めた。

11:30 彼らはそれを実行し、バルナバとサウロの手に託して長老たちに送った。

12:5 こうしてペテロは牢に閉じ込められていたが、教会は彼のために、熱心な祈りを神にささげていた。

祈り = ◀ 4335. proseuché (プラスウヘィ)37回▶(N) 祈り (真剣な祈り) (語源は 4336. proseuchomai (普通に祈る))

(ギ) 祈りは、しかし、熱心に、なっていく、教会によって、神に向かって、彼に対する

(NAS) So Peter was kept in the prison, but prayer for him was being made fervently by the church to God.

13:1 さて、アンティオキアには、そこにある教会に、バルナバ、ニゲルと呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、領主ヘロデの乳兄弟マナエン、サウロなどの預言者や教師がいた。

@すでにパウロは教師だった

13:2 彼らが主を 礼拝し、断食していると、聖霊が「さあ、わたしのためにバルナバとサウロを 聖別して、わたしが召した働きに就かせなさい」と言われた。

礼拝し = ◀ 3008. leitourgeó (ラトゥールゲオ) 3回▶ 奉仕する、国家に奉仕する、公共サービスの行動、礼拝の務めをする、

ここで言う礼拝を

◀ 4352. proskuneó (プラスクネーオ) 60回▶ (一般的な礼拝を意味する単語) 敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく、礼拝する
ではなく、身体を使って仕える事であるとするなら、単に主を求めているときに聖霊が語ったというよりは、忙しくしているときに主が語ったと解釈できます。

使 13:2 彼らが主を礼拝し、断食していると、聖霊が「さあ、わたしのためにバルナバとサウロを聖別して、わたしが召した働きに就かせなさい」と言われた。

ロマ 15:27 彼らは喜んでそうすることにしたのですが、聖徒たちに対してそうする義務もあります。異邦人は彼らの霊的なものにあずかったのですから、物質的なもので彼らに奉仕すべきです。

(KJV)(NAS) to minister

ヘブル 10:11 さらに、祭司がみな、毎日立って礼拝の務めをなし、同じいけにえを繰り返し献げても、それらは決して罪を除き去ることができませんが、

@名詞形

◀ 2999. latreia (ラトラヤ) 5回 ▶ (N) 礼拝、神に仕えること、神殿での奉仕

ヨハネ 16:2 人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。実際、あなたがたを殺す者がみな、自分は神に奉仕していると思う時が来ます。

ローマ 9:4 彼らはイスラエル人です。子とされることも、栄光も、契約も、律法の授与も、礼拝も、約束も彼らのものです。

ローマ 12:1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたさげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

ヘブル 9:1 さて、初めの契約にも、礼拝の規定と地上の聖所がありました

9:6 さて、これらの物が以上のように整えられたうえで、祭司たちはいつも第一の幕屋に入って、礼拝を行います。

聖別して＝◀ 873. Aphorizó (アファリゾ) 10回▶ 分ける、離れる、

聖別と訳されたのは使徒 13:2 だけ。

良い意味でつかわれているのは、ロマ 1:1 とガラ 1:15 の「選び出し」ぐらい。

マタ 13:49 この世の終わりにもそのようになります。御使いたちが来て、正しい者たちの中から悪い者どもをより分け、

マタ 25:32 そして、すべての国の人々が御前に集められます。人の子は、羊飼いが羊をやぎからより分けるように彼らをより分け、

ルカ 6:22 人々があなたがたを憎むとき、人の子のゆえに排除し、ののしり、あなたがたの名を悪しざまにけなすとき、あなたがたは幸いです。

使 13:2 彼らが主を礼拝し、断食していると、聖霊が「さあ、わたしのためにバルナバとサウロを聖別して、わたしが召した働きに就かせなさい」と言われた。

使 19:9 しかし、ある者たちが心を頑なにしてお聞き入れず、会衆の前でこの道のことを悪く言ったので、パウロは彼らから離れ、弟子たちも退かせて、毎日ティラノの講堂で論じた。

ロマ 1:1 キリスト・イエスのしもべ、神の福音のために選び出され、使徒として召されたパウロから。

Ⅱコリ 6:17 それゆえ、彼らの中から出て行き、彼らから離れよ。——主は言われる——汚れたものに触れてはならない。そうすればわたしは、あなたがたを受け入れ、

ガラ 1:15 しかし、母の胎にあるときから私を選び出し、恵みをもって召してくださった神が、

ガラ 2:12 ケファは、ある人たちがヤコブのところから来る前は、異邦人と一緒に食事をしていたのに、その人たちが来ると、割礼派の人々を恐れて異邦人から身を引き、離れて行ったからです。

聖別と訳されている言葉

◀ 40. hagios (ハギアス) 235 回 ▶ (A) 聖なる

◀ 37. hagiázó (ハギアゾ) 2 回 ▶ (V) 聖なるものとする、聖別する ヨハ 17:17

◀ 38. hagiastos (ハギアスマス) 10 回 ▶ (N) 2 テサ 2:13 1 ペテ 1:2

@ 聖別 = (ギ) アファリゾ = 分ける、切り離す = 単なる聖別よりも強い意味がある

@ 教会の構成員だったのが特別に働く必要があったので主は別にした。しかし依然教会の覆いの元にある。

@ 使徒としての任命。理由は (14:14) との間にも見当たらない。

@ 聖別して = 特別な任命 = 使徒としての任命 = 四役者しかいない中で使徒として聖別した。

(使徒 14:27) において教会に報告した。

使徒 11:2 においてペテロは分離されていなかったなので自由に動けなかった。

@ (使徒 11:2) そこで、ペテロがエルサレムに上って来たとき、割礼を受けている者たちが、彼を非難して、

11:3 「あなたは割礼を受けていない者たちのところに行って、彼らと一緒に食事をした」と言った。

。

13:8 ところが、その魔術師エリマ (その名を訳すと、魔術師) は、二人に反

対して総督を信仰から遠ざけようとした。

13:9 すると、サウロ、別名パウロは、聖霊に満たされ、彼をにらみつけて、
13:10 こう言った。「ああ、あらゆる偽りとあらゆる悪事に満ちた者、悪魔の子、すべての正義の敵、おまえは、主のまっすぐな道を曲げることをやめないのか。

13:15 律法と預言者たちの書の朗読があった後、会堂司たちは彼らのところに人を行かせて、こう言った。「兄弟たち。あなたがたに、この人たちのために何か奨励のことばがあれば、お話しください。」

奨励= ◀ 3874. parakl sis (パラクレシス) 29 回▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、勧め

しかし、英語の主要訳(NIV)(NAS)(KJV)では exhortation(訓戒、励まし)と訳されている。励ましについてはよいが訓戒的な意味はパラクレシスにはない。

奨励のことば= (ギ) パラクレシスのロゴス

13:27 エルサレムに住む人々とその指導者たちは、このイエスを認めず、また安息日ごとに読まれる預言者たちのことばを理解せず、イエスを罪に定めて、預言を成就させました。

@ アンテオケのユダヤ人に対して=「エルサレムに住む人々とその指導者たち」

◀ 3870. parakale  (パラカレオ) 109 回▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧め、懇願する、助言する、奨励する、

13:42 二人が会堂を出るとき、人々は、次の安息日にも同じことについて話してくれるように頼んだ。

13:43 会堂の集会が終わってからも、多くのユダヤ人と神を敬う改宗者たちがパウロとバルナバについて来たので、二人は彼らと語り合い、神の恵みにとどまるように説得した。

敬う = ◀ 4576. sebo (セボー) 10 回 ▶ (V) 礼拝する、敬意を払う、adore

@この単語は新約聖書で6回「神を敬う」の敬うという言葉で登場する

@しかし、この部分は「神を恐れる」という訳が適切であろうというのも、マルコ 7:7 でもこの単語が使われているが

マル 7:7 彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、
教えとして教えるのだから。』

礼拝と訳されたこの箇所引用元であるイザヤ 29 : 13 では「恐れる」 ◀ 3373. yare (ヤレ) 55 回 ▶ となっているからです。

イザ 29:13 主は言われた。「それは、この民が口先でわたしに近づき、唇でわたしを敬いながら、その心がわたしから遠く離れているからだ。彼らがわたしを恐れるのは、人間の命令を教え込まれてのことである。

@その、マルコ 7 : 7に見られるように、この単語は「礼拝する」に等しい。なぜならばマルコ 7:7 でイザヤ 29:13 を引用し「礼拝する」と訳しているのでマル 7:7 彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、教えとして教えるのだから。』

(NAS)THEY WORSHIP ME,

(KJV) they worship me

13:46 そこで、パウロとバルナバは大胆に語った。「神のことばは、まずあなたがたに語られなければなりません。しかし、あなたがたはそれを拒んで、自分自身を永遠のいのちにふさわしくない者にしています。ですから、見なさい、私たちはこれから異邦人たちの方に向かいます。

向かいます＝◀ 4762. strephó (ステレホ) 21 回▶ 振り向く、立ち返る、変える、方向を変える

単に「行く」という意味ではなく、「方向転換」的なニュアンスを持った言葉

@(改2)では「悔い改める」と訳されたこともある

マタイ 18:3 こう言われた。「まことに、あなたがたに言います。向きを変えて(改2悔い改めて)子どもたちのようにならなければ、決して天の御国に入れません。

振り向く

マタイ 9:22 イエスは振り向いて、彼女を見て言われた。「娘よ、しっかりしなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」すると、その時から彼女は癒やされた。

立ち返る

ヨハ 12:40 「主は彼らの目を見えないようにされた。また、彼らの心を頑なにされた。彼らはその目で見ることも、心で理解することも、立ち返ることもないように。そして、わたしが彼らを癒やすこともないように。」

13:47 主が私たちに、こう命じておられるからです。『わたしはあなたを異邦人の光とし、地の果てにまで救いをもたらす者とする。』

13:48 異邦人たちはこれを聞いて喜び、主のことばを賛美した。そして、永遠のいのちにあずかるように定められていた人たちはみな、信仰に入った。

賛美した＝◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2 回▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

ドクサツヅを賛美と訳するのは珍し

13:50 ところが、ユダヤ人たちは、神を敬う貴婦人たちや町のおもだった人たちを扇動して、パウロとバルナバを迫害させ、二人をその地方から追い出した。

◀ 4576. sebó (セボー) 10 回▶ (V) 礼拝する、敬意を払う、adore

14:8 さてリステラで、足の不自由な人が座っていた。彼は生まれつき足が動かず、これまで一度も歩いたことがなかった。

リステラ=(改 2)ルステラ

テモテがいた町

14:14 これを聞いた使徒たち、バルナバとパウロは、衣を裂いて群衆の中に飛び込んで行き、叫んだ。

使徒たち=パウロとバルナバは使徒になっていた。

14:15 「皆さん、どうしてこんなことをするのですか。私たちもあなたがたと同じ人間です。そして、あなたがたがこのような空しいことから離れて、天と地と海、またそれらの中のすべてのものを造られた生ける神に立ち返るように、福音を宣べ伝えているのです。

同じ人間=◀ 3663. Homoioathés (ハモヤハセイス) 2 回▶

「◀ 3664. Homoios (ハモヤス) 45 回▶同じような」

と

「◀ 3958. Paschó (パスホー) 42 回▶(多くの訳出は)苦しむ」

の合成

マタ 16:21 そのときからイエスは、ご自分がエルサレムに行って、長老たち、祭司長たち、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺さ

れ、三日目によみがえらなければならないことを、弟子たちに示し始められた。

マタ 27:19 ピラトが裁判の席に着いているときに、彼の妻が彼のもとに人を遣わして言った。「あの正しい人と関わらないでください。あの人のことで、私は今日、夢でたいへん苦しい目にあいましたから。」

ヤコブ 5:17 エリヤは私たちと同じ人間でしたが、雨が降らないように熱心に祈ると、三年六か月の間、雨は地に降りませんでした。

使 14:19 ところが、アンティオキアとイコニオンからユダヤ人たちがやって来て、群衆を抱き込み、パウロを石打ちにした。彼らはパウロが死んだものと思って、町の外に引きずり出した。

14:21 二人はこの町で福音を宣べ伝え、多くの人々を弟子としてから、リステ、イコニオン、アンティオキアへと引き返して、

14:22 弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧めて、「私たちは、神の国に入るために、多くの苦しみを経なければならない」と語った。

勧める = ◀(V) 3870. Parakaleó (パラカレオ) 109回▶ 励ます、慰める、お願ひする、懇願する

慰める・

マタイ 5:4 悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるからです。

懇願する・

マタ 8:5 イエスがカペナウムに入られると、一人の百人隊長がみも

とに来て懇願し

勧める・(こう訳される個所は割合的には少数派)

使徒 14:22 弟子たちの心を強め、信仰にしっかりとどまるように勧めて、「私たちは、神の国に入るために、多くの苦しみを経なければ

ロマ 12:1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

@ 勧める = (NAS) encouraging (KJV) exhorting (RV)exhortar

14:27 そこに着くと、教会の人々を集め、神が彼らとともにいて行なわれたすべてのことと、異邦人に信仰の門を開いてくださったことを報告した。

@覆いの下にあったので報告した

■使徒 15 章は AD50 年ごろの出来事。

15:4 エルサレムに着くと、彼らは教会の人々と使徒たちと長老たちに迎えられた。それで、神が彼らとともにいて行われたことをすべて報告した。

@恵みの証し まず恵みについて語った

15:5 ところが、パリサイ派の者で信者になった人たちが立ち上がり、「異邦人にも割礼を受けさせ、モーセの律法を守るように命じるべきである」と言った。

@規則について

15:6 そこで使徒たちと長老たちは、この問題について協議するために集まった。

15:10 そうであるなら、なぜ今あなたがたは、私たちの先祖たちも私たちも負いきれなかつたくびきを、あの弟子たちの首に掛けて、神を試みるのですか。

15:13 二人が話し終わると、ヤコブが応じて言った。「兄弟たち、私の言うことを聞いてください。

@ヤコブ＝水平型の使徒(一番上に立つリーダーではないがその場を仕切った)

15:16 『その後、わたしは倒れているダビデの**仮庵**を再び建て直す。その廢墟を建て直し、それを堅く立てる。

仮庵＝◀ 4633. skéné 20 回 ▶ Definition: a tent

Usage: a tent, booth, tabernacle, abode, dwelling, mansion, habitation.

幕屋と訳された別の言葉

◀ 4633. skéné 20 回 (N) ▶ 仮庵と訳されたのは使徒 15:16 でこの言葉だけ

◀ 4636. skénos 2 回 (N) ▶ 第 2 コリント 5:1、5:4

◀ 4638. skénóma 3 回 (N) ▶ 使徒 7:46、第 2 ペテロ 1:3、1:4

◀ 4634. skénopégia 1 回 (N) ▶ 旧約の仮庵。ヨハ 7:2 時に、仮庵の祭りというユダヤ人の祭りが近づ・・・

◀ 4637. skénoó 5 回 (V) ▶ 天幕を張る、(間に住まわれた)ヨハネ 1:14、その他黙示録に 4 回

(1) ◀ 4636. skénos 2 回 ▶ Definition: a tent, for the body

Usage: a tent, tabernacle; fig: of the human body.

第2コリ 5:1 たとえ私たちの地上の住まいである幕屋が壊れても、私たちに天に、神が下さる建物、人の手によらない永遠の住まいがあることを、私たちは知っています。

第2コリ 5:4 確かにこの幕屋のうちにいる間、私たちは重荷を負ってうめいています。それは、(※補足)「この幕屋を」脱ぎたいからではありません。死ぬはずのものが、いのちによって呑み込まれるために、天からの住まいを上に着たいからです。

(2) ◀ 4638. skénóma 3 回 ▶ Definition: a tent

Usage: a tent pitched, a dwelling, tabernacle.

使 7:46 ダビデは神の前に恵みをいただき、ヤコブの家のために、幕屋のとどまることを求めました。

第2ペテロ 1:13 それを思い起こさせて、あなたがたを奮い立たせることを、私は地上の幕屋にいるかぎり、なすべきだと思っています。

第2ペテロ 1:14 私たちの主イエス・キリストが示してくださったように、私はこの幕屋を間もなく脱ぎ捨てることを知っています。

アモス 9:11 その日、わたしは倒れているダビデの仮庵を起こす。その破れを繕い、その廢墟を起こし、昔の日のようにこれを建て直す。

仮庵 = ◀ 5521. sukkah 31 回 ▶

幕屋(mishkan)という意味で用いられたことは一度もない

(Ge33:17)小屋、(レビ 23:34)仮庵(の祭り)、(レビ 23:42)仮庵、(レビ 23:42)仮庵、(レビ 23:43)仮庵、(申 16:13)仮庵(の祭り)、(申 16:16)仮庵(の祭り)、(申 31:10)仮庵(の祭り)、(2サムエル 11:11)仮庵(神の箱が入っているテント・ただし、イスラエル、ユダの困窮と同列の表現なので、みずぼらしさを強調するための言葉)、(2サム 22:12)仮庵

(闇が覆うという意味、(KJV)は pavilion)、(1列王 20:12)仮小屋、(1列王 20:16)仮小屋、(2歴 8:12)仮庵(の祭り)、
(エズラ 3:4)仮庵(の祭り)、(ネヘミヤ 8:14,15,16,17,17)仮庵.(NAS)(KJV)(INT)booths、
(ヨブ 27:18)仮小屋、(ヨブ 36:29)幕屋(雷雨を表現)(NAS)pavilion(KJV)tabernacle(INT)booth、
(ヨブ 38:40)茂み、(詩編 18:11)仮庵(雨雲 (KJV)は pavilion)、(詩編 31:20)隠れ場、(イザヤ 1:8)小屋(ぶどう畑)、
(イザヤ 4:6)仮庵(NAS)shelter(KJV)tabernacle(INT)shelter、
(アモス 9:11)仮庵(NAS)booth(KJV)tabernacle(INT) booth、
(ヨナ 4:5)仮小屋、
(ゼカリヤ 14:16) 仮庵(の祭り)、(ゼカリヤ 14:18) 仮庵(の祭り)、(ゼカリヤ 14:19) 仮庵(の祭り)

15:17 それは、人々のうちの残りの者とわたしの名で呼ばれるすべての異邦人が、主を求めるようになるためだ。

人々 = (70 人) ◀ 444. Anthrópos(アンテロポス) 554 回 ▶

(へ) エドム = ◀ 123.(עַדְוֹם) edom 100 回 ▶ 調味料の名前

異邦人 = (70 人) ◀ 1484. Ethnos(エスノス) 163 回 ▶ 種族、民族、異邦人、国民

(へ)

エスノスはほとんどの場合異邦人というニュアンスでつかわれております。しかし、時にはユダヤ人も含みます。

マタイ 21:43 ですから、わたしは言うておきます。神の国はあなたがたから取り去られ、神の国の実を結ぶ 民に (エスノス) 与えられ

ます。

9:12 これは、**エドム**の残りの者とわたしの名で呼ばれるすべての国々を、彼らが所有するためだ。——これを行う【主】のことは。

@使徒ヤコブは正しく引用している。(使徒 15:17) (改 4) それは、人々のうちの残りの者とわたしの名で呼ばれるすべての異邦人が、主を求めるようになるためだ。

エドム = ◀ 123.(אדום) edom 100 回 ▶ 調味料の名前

文中で書かれたものはすべて(אדום)なのでアダムとの混乱はないはず。

@異邦人がみな = 異邦人の救い = 奥義

15:19 ですから、**私の判断では**、異邦人の間で神に立ち返る者たちを悩ませてはいけません。

@私の判断 = もともと全体の意見ではない → すべての人の見解となった

15:20 ただ、偶像に供えて汚れたものと、淫らな行いと、絞め殺したものと、血とを避けるように、彼らに書き送るべきです。

@書き送るべきだと = この決心にはリスクが伴ったのではっきりと伝える必要があった

@問題解決の方法

- 1、問題の大きさを測る ねずみを倒すのにミサイルを使うようなことはしない
- 2、誰が関わっているかを調べる 影響力のある人か、周辺の人かどうか

- 3、 その動機を探る 結果が悪くても良い動機だった
ら寛容に
- 4、 解決の機会をうかがう 結構大切
- 5、 関わっている人を集める ミスコミュニケーションを避け、
言い分を聞く
- 6、 主が与えた権威を尊ぶ
- 7、 地域の権威者に従う
- 8、 肯定的に見ていく（ユーモアのセンスを忘れない、問題を preach し
ない）
- 9、 問題の原因を探る（影響力のある人であればすぐに取り扱う）
- 6、 互いの違いを認める
- 7、 聖書の原則を知る
- 8、 リスクを負う すべての解決の為に主が語られるわけ
ではない、決心のリスクを負う
- 10、 決心の後にははっきりと伝える

15:21 モーセの律法は、昔から町ごとに宣べ伝える者たちがいて、安息日ごとに諸会堂で読まれているからです。」

@異邦人に「偶像に備えたもの、絞め殺したもの、血、不品行」を避けるように指示したのは規則ではなく、諸会堂にいるユダヤ人とあまりにも習慣が違いすぎるのはよくないので

15:24 私たちは何も指示していないのに、私たちの中のある者たちが出て行って、いろいろなことを言ってあなたがたを混乱させ、あなたがたの心を動揺させたと聞きました。

15:28 聖霊と私たちは、次の必要なことのほかには、あなたがたに、それ以上のどんな重荷も負わせないことを決めました。

@聖霊と共に働く

15:29 すなわち、偶像に供えたものと、血と、絞め殺したものと、淫らな行いを避けることです。これら避けていれば、それで結構です。祝福を祈ります。」

祝福を祈ります = ◀ 4517. rhónnumi (ルフヌミ)1回 ▶ 手紙の終わりに書く言葉

15:32 ユダもシラスも預言者であったので、多くのことばをもって兄弟たちを励まし、力づけた。

◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109回 ▶ (V) 呼びかける、助言する、奨励する、慰める、励ます、勧める

励まし、また力づけた。

@預言の働きは励ましと力を与える

15:33 二人は、しばらく滞在した後、兄弟たちの平安のあいさつに送られて、自分たちを遣わした人々のところに帰って行った。

15:34 【本節欠如】

(改 2) 15:34 [本節欠如] しかし、シラスはそこにとどまることを決めた。

15:36 それから数日後、パウロはバルナバに言った。「さあ、先に主のことばを宣べ伝えたすべての町で、兄弟たちがどうしているか、また行って見て来ようではありませんか。」

。

15:39 こうして激しい議論になり、その結果、互いに別行動をとることになった。バルナバはマルコを連れて、船でキプロスに渡って行き、

@(コロ 4:10) 私とともに囚人となっているアリストアルコと、バルナバのいとこであるマルコが、あなたがたによろしくとっています。このマルコについては、もし彼があなたがたのところに行ったら迎え入れるように、という指示をあなたがたはすでに受けています。

(2テモ 4:11) 4:11 ルカだけが私とともにいます。マルコを伴って、一緒に来てください。彼は私の務めのために役に立つからです。

16:1 それからパウロはデルベに、そしてリステラに行った。すると、そこにテモテという弟子がいた。信者であるユダヤ人女性の子で、父親はギリシア人であった。

@ルステラ=かつて石打ちにあったところ (14 : 19)

16:2 彼は、リステラとイコニオンの兄弟たちの間で評判の良い人であった。

@テモテ=当時13 - 16歳、病気がちだった (1テモ 5:23)

16:3 パウロは、このテモテを連れて行きたかった。それで、その地方にいるユダヤ人たちのために、彼に割礼を受けさせた。彼の父親がギリシア人であることを、皆が知っていたからである。

第1コリント 9:20 ユダヤ人にはユダヤ人のようになりました。ユダヤ人を獲得するためです。律法の下にある人たちには——私自身は律法の下にはいませんが——律法の下にある者のようになりしました。律法の下にある人たちを獲得するためです。

16:4 彼らは町々を巡り、エルサレムの使徒たちと長老たちが決めた規定を、守るべきものとして人々に伝えた。

16:5 こうして諸教会は信仰を強められ、人数も日ごとに増えていった。

@異邦人に対するコシエル（食物規定）の緩和 = 境界線をはっきりさせた

16:6 それから彼らは、アジアでみことばを語ることを聖霊によって禁じられたので、フリュギア・ガラテヤの地方を通って行った。

16:7 こうしてミシアの近くまで来たとき、ビティニアに進もうとしたが、イエスの御霊がそれを許されなかった。

16:9 その夜、パウロは幻を見た。一人のマケドニア人が立って、「マケドニアに渡って来て、私たちを助けてください」と懇願するのであった。

◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回 ▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励す

使 16:9 その夜、パウロは幻を見た。一人のマケドニア人が立って、「マケドニアに渡って来て、私たちを助けてください」と懇願するのであった。

16:12 そこからピリピに行った。この町はマケドニアのこの地方の主要な町で、植民都市であった。私たちはこの町に数日滞在した。

16:13 そして安息日に、私たちは町の門の外に出て、祈り場があると思われた川岸に行き、そこに腰を下ろして、集まって来た女たちに話をした。

祈り場=the paryer=◀ 4335. proseuché (プラスウヘイ)37 回▶ (N) 祈り (真剣な祈り)

(ギ)原文に「場」という言葉はなく、ただ定冠詞+祈り

祈り場 = (RV) いつもいのっていた場所

◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回 ▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、
勧める、懇願する、助言する、奨励する、

16:14 リディアという名の女の人が聞いていた。ティアティラ市の紫布の商人
で、神を敬う人であった。主は彼女の心を開いて、パウロの語ることに心を留
めるようにされた。

敬う = ◀ 4576. sebó (セボー) 10 回 ▶ (V) 礼拝する、敬意を払う、adore

@この単語は新約聖書で6回「神を敬う」の敬うという言葉で登場する

@しかし、この部分は「神を恐れる」という訳が適切であろうというのも、マ
ルコ 7:7 でもこの単語が使われているが

マル 7:7 彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、
教えとして教えるのだから。』

礼拝と訳されたこの箇所の引用元であるイザヤ 29 : 13 では「恐れる」 ◀
3373. yare (יָרֵא) (ヤレ) 55 回 ▶ となっているからです。

イザ 29:13 主は言われた。「それは、この民が口先でわたしに近づき、
唇でわたしを敬いながら、その心がわたしから遠く離れているからだ。
彼らがわたしを恐れるのは、人間の命令を教え込まれてのことである。

@その、マルコ 7 : 7 に見られるように、この単語は「礼拝する」に等しい。
なぜならばマルコ 7:7 でイザヤ 29:13 を引用し「礼拝する」と訳しているので
マル 7:7 彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、教えとして教えるの
だから。』

(NAS) THEY WORSHIP ME,

(KJV) they worship me

16:15 そして、彼女とその家族の者たちがバプテスマを受けたとき、彼女は「私が主を信じる者だと思いでしたら、私の家に来てお泊まりください」と懇願し、無理やり私たちにそうさせた。

勧める = ◀(V) 3870. Parakaleó (パラカレオ) 109 回▶ 励ます、慰める、お願いする、懇願する

無理やりさせた = ◀ 3849. parabiazomai (パラビ^アズマイ) 2 回▶ (V)自然に逆らう、強く勧める、無理にする

ルカ 24:29 彼らが、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もすでに傾いています」と言って強く勧めたので、イエスは彼らとともに泊まるため、中に入られた。

使 16:15 そして、彼女とその家族の者たちがバプテスマを受けたとき、彼女は「私が主を信じる者だと思いでしたら、私の家に来てお泊まりください」と懇願し、無理やり私たちにそうさせた。

懇願し = 3870 パラカレオ。 無理やりそうさせた =

16:16 さて、祈り場に行く途中のことであった。私たちは占いの霊につかれた若い女奴隷に出会った。この女は占いをして、主人たちに多くの利益を得させていた。

祈り場 = the paryer = ◀ 4335. proseuché (プラスウヘイ) 37 回▶ (N) 祈り (真剣な祈り)

(ギ)原文に「場」という言葉はなく、ただ定冠詞 + 祈り

16:17 彼女はパウロや私たちの後について来て、「この人たちは、いと高き神のしもべたちで、救いの道をあなたがたに宣べ伝えています」と叫び続けた。

@占いの禁止（申命記 18 : 10）、

占いの霊は偽りの知識の霊です。真理を語るがそれにくそを混ぜる

16:18 何日もこんなことをするので、困り果てたパウロは、振り向いてその霊に、「イエス・キリストの名によっておまえに命じる。この女から出て行け」と言った。すると、ただちに霊は出て行った。

@幾日も＝パウロも見分けるのに時間がかかった

16:25 真夜中ごろ、パウロとシラスは祈りつつ、神を賛美する歌を歌っていた。ほかの囚人たちはそれに聞き入っていた。

賛美する歌を歌って＝◀ 5214. Humneó (フ_m ネオ) 4回▶(V)歌う、賛美を歌う

16:26 すると突然、大きな地震が起こり、牢獄の土台が揺れ動き、たちまち扉が全部開いて、すべての囚人の鎖が外れてしまった。

@ 2人の信仰が他の多くの人たちを解放した、

(民 13 :) 10人の不信仰がすべてのイスラエルを惑わ

した

16:31 二人は言った。「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。」

使徒 11:14 その人が、あなたとあなたの家の者たち全員を救う

ことばを、あなたに話してくれます。』

16:33 看守はその夜、時を移さず二人を引き取り、打ち傷を洗った。そして、彼とその家の者全員が、すぐにバプテスマを受けた。

16:34 それから二人を家に案内して、食事のもてなしをし、神を信じたことを全家族とともに心から喜んだ。

心から喜んだ = ◀ 21. agalliaó (アガリアオ) 11回 ▶ 歡喜にあふれて喜ぶ

マタ 5:12 喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々は同じように迫害したのです。

ルカ 1:47 私の霊は私の救い主である神をたたえます。

10:21 ちょうどそのとき、イエスは聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主であられる父よ、あなたをほめたたえます。あなたはこれらのことを、知恵ある者や賢い者には隠して、幼子たちに現してくださいました。そうです、父よ、これはみこころにかなったことでした。

ヨハ 5:35 ヨハネは燃えて輝くともしびであり、あなたがたはしばらくの間、その光の中で大いに喜ぼうとしました。

ヨハ 8:56 あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見るようになることを、大いに喜んでいました。そして、それを見て、喜んだのです。」

使 2:26 それゆえ、私の心は喜び、私の舌は喜びにあふれます。私の身も、望みの中に住まいます。

使 16:34 それから二人を家に案内して、食事のもてなしをし、神を信じたことを全家族とともに心から喜んだ。

第1 ペテ 1:6 そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。今しばらくの間、様々な試練の中で悲しまなければならないのですが、

第1 ペテ 1:8 あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、今見てはいないけれども信じており、ことばに尽くせない、栄えに満ちた喜びに躍っています。

第1 ペテ 4:13 むしろ、キリストの苦難にあずかればあずかるほど、いっそう喜びなさい。キリストの栄光が現れるときにも、歓喜にあふれて喜ぶためです。

黙 19:7 私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の婚礼の時が来て、花嫁は用意ができたのだから。

◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回 ▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励す

16:39 自分たちで出向いて来て、二人をなだめた。そして牢から外に出し、町から立ち去るように頼んだ。

16:40 牢を出た二人はリディアの家に行った。そして兄弟たちに会い、彼らを励ましてから立ち去った。

@兄弟たち=すでにクリスチャンのグループがあった

@パウロが何年も滞在したのではなく、弟子達が成長した。

17:4 彼らのうちのある者たちは納得して、パウロとシラスに従った。神を敬う大勢のギリシア人たちや、かなりの数の有力な婦人たちも同様であった。

敬う = ◀ 4576. sebo (セボー) 10 回 ▶ (V) 礼拝する、敬意を払う、adore

@この単語は新約聖書で6回「神を敬う」の敬うという言葉で登場する

@しかし、この部分は「神を恐れる」という訳が適切であろうというのも、マルコ 7:7 でもこの単語が使われているが

マル 7:7 彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、教えとして教えるのだから。』

礼拝と訳されたこの箇所引用元であるイザヤ 29 : 13 では「恐れる」 ◀ 3373. yare (יָרֵא) (ヤレ)55 回 ▶ となっているからです。

イザ 29:13 主は言われた。「それは、この民が口先でわたしに近づき、唇でわたしを敬いながら、その心がわたしから遠く離れているからだ。彼らがわたしを恐れるのは、人間の命令を教え込まれてのことである。

17:6 しかし、二人が見つからないので、ヤソンと兄弟たち何人かを町の役人たちのところに引いて行き、大声で言った。「世界中を騒がせてきた者たちが、ここにも来ています。

騒がせて = ◀ 387. anastatoó (アナスタトオ) 3 回 ▶ かき混ぜる、ひっくり返す

@ヤソン = パウロの親戚

17:11 この町のユダヤ人は、テサロニケにいる者たちよりも素直で、非常に熱心にみことばを受け入れ、はたしてそのとおりかどうか、毎日聖書を調べた。

17:12 それで彼らのうちの多くの人たちが信じた。また、ギリシアの貴婦人たち、そして男たちも少なからず信じた。

@それで=(17:11)の聖書研究の結果

17:14 そこで兄弟たちは、すぐにパウロを送り出して海岸まで行かせたが、シラスとテモテはベレアにとどまった。

@シラスとテモテはベレヤに踏みとどまった、

(特に) テモテは

マケドニアのベレア

17:16 さて、パウロはアテネで二人を待っていたが、町が偶像でいっぱいなのを見て、心に憤りを覚えた。

心に憤りを覚えた= ◀ 3947. paroxunó (パラクスノ) 2回▶ 研ぐ、刺激する、挑発する、怒る、いらだつ

+

◀ 4151. pneuma 383 (ニューマ) 383回▶ 霊、息、風

17:17 それでパウロは、会堂ではユダヤ人たちや神を敬う人たちと論じ、広場ではそこに居合わせた人たちと毎日論じ合った。

敬う= ◀ 4576. sebó (セボー) 10回▶ (V) 礼拝する、敬意を払う、adore

@この単語は新約聖書で6回「神を敬う」の敬うという言葉で登場する

@しかし、この部分は「神を恐れる」という訳が適切であろうというのも、マルコ 7:7 でもこの単語が使われているが

マル 7:7 彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、教えとして教えるのだから。』

礼拝と訳されたこの箇所引用元であるイザヤ29：13では「恐れる」◀
3373. yare (יָרֵא) (ヤレ)55回▶となっているからです。

イザ 29:13 主は言われた。「それは、この民が口先でわたしに近づき、唇でわたしを敬いながら、その心がわたしから遠く離れているからだ。彼らがわたしを恐れるのは、人間の命令を教え込まれたことである。

17:16 さて、パウロはアテネで二人を待っていたが、町が偶像でいっぱいなのを見て、心に憤りを覚えた。

17:17 それでパウロは、会堂ではユダヤ人たちや神を敬う人たちと論じ、広場ではそこに居合わせた人たちと毎日論じ合った。

17:18 エピクロス派とストア派の哲学者たちも何人か、パウロと議論していたが、ある者たちは「このおしゃべりは、何が言いたいのか」と言い、ほかの者たちは「彼は他国の神々の宣伝者のようだ」と言った。パウロが、イエスと復活を宣べ伝えていたからである。

@ エピクロス派=快楽的、唯物的、死=無、無神論。

@ ストア派=アリストテレス、プラトン、運命的、多神論

@ 神々= (ギ) ダイモニオン=偶像の意味=悪霊

◀ 1140. daimonion (ダイマニオン) 63回▶悪霊、 神々と訳されているのはこの箇所だけ

17:23 道を通りながら、あなたがたの拝むものをよく見ているうちに、『知られていない神に』と刻まれた祭壇があるのを見つけたからです。そこで、あなたがたが知らずに拝んでいるもの、それを教えましょう。

使 17:23 道を通りながら、あなたがたの拝むもの(4574)をよく見ているうちに、『知られていない神に』と刻まれた祭壇があるのを見つけたからです。そ

ここで、あなたがたが知らずに拝んでいる(2151)もの、それを教えましょう。

拝むもの = ◀ 4574. sebasma (セバスマ) 2回 ▶ (N) 礼拝されるもの

第2テサ 2:4 不法の者は、すべて神と呼ばれるもの、礼拝されるものに対抗して自分を高く上げ、ついには自分こそ神であると宣言して、神の宮に座ることになります。

拝んでいる = ◀ 2151. eusebeó (ユセベオ) 2回 ▶ 信心を示す、崇拝する、礼儀正しくする

第1テモ 5:4 もし、やもめに子どもか孫がいるなら、まずその人たちに、自分の家の人に敬愛を示して(2151)、親の恩に報いることを学ばせなさい。それが神の御前に喜ばれることです。

17:24 この世界とそこの中にあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手で造られた宮にお住みにはなりません。

17:25 また、何か足りないかのように、人の手によって仕えられる必要もありません。神ご自身がすべての人に、いのちと息と万物を与えておられるのですから。

仕える = ◀ 2323. therapeuó (セラプオ) 43回 ▶ 癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

使徒 17:25 のみ「仕える」ただし KJV では worship する

17:26 神は、一人の人からあらゆる民を造り出して、地の全面に住ませ、それぞれに決められた時代と、住まいの境をお定めになりました。

17:27 それは、神を求めさせるためです。もし人が手探りで求めることがあれば、神を見出すこともあるでしょう。確かに、神は私たち一人ひとりから遠く離れてはおられません。

@神の定める2つの境界（時、場所）今のこの場所、この時点で神に忠実であるべき。

（改2） 17:26 神は、ひとりの人からすべての国の人々を造り出して、地の全面に住ませ、それぞれに決められた時代と、その住まいの境界とお定めになりました。

17:27 それは、神を求めさせるためです。もし人が手探りで求めることがあれば、神を見出すこともあるでしょう。確かに、神は私たち一人ひとりから遠く離れてはおられません。

@これは、、、為です。=民族が持っている文化は神からの物（神が許容されたもの）

@ 第1歴代誌 28:9 わが子ソロモンよ。あなたの父の神を知り、全き心と喜びの気持ちをもって神に仕えなさい。【主】はすべての心を探り、すべての思いの動機を読み取られるからである。もし、あなたが神を求めらば、神はあなたにご自分を現される。もし、あなたが神を離れるなら、神はあなたをとこしえまでも退けられる。

17:29 そのように私たちは神の子孫ですから、神である方を金や銀や石、人間の技術や考えで造ったものと同じであると、考えるべきではありません。

もの= ◀ 1504. eikón (アイコン) 23回 ▶ (N) 肖像(マタ 22:20)、似たかたち(ロマ 1:23)、

実物(ヘブ 10:1)、かたちと同じ姿(ロマ 8:29)、かたち(1 コリ 11:7)、
像(黙示 13:14、14:9、15:2、16:2、19:20、
20:4)

17:30 神はそのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今はどこでも、すべての人に悔い改めを命じておられます。

17:34 ある人々は彼につき従い、信仰に入った。その中には、アレオパゴスの裁判官ディオヌシオ、ダマリスという名の女の人、そのほかの人たちもいた。

@裁判官などの高官も信じた

18:1 その後、パウロはアテネを去ってコリントに行った。

18:2 そこで、ポントス生まれでアキラという名のユダヤ人と、彼の妻プリスキラに出会った。クラウディウス帝が、すべてのユダヤ人をローマから退去させるように命じたので、最近イタリアから来ていたのである。パウロは二人のところに行き、

アキラという名のユダヤ人と、彼の妻プリスキラ

妻のほうが先

使徒 18:26 彼は会堂で大胆に語り始めた。それを聞いたプリスキラとアキラは、彼をわきに呼んで、神の道をもっと正確に説明した。

ロマ 16:3 キリスト・イエスにある私の同労者、プリスカとアキラによろしく伝えてください。

第2テモ 4:19 プリスカとアキラによろしく。また、オネシポロの家族によろしく。

夫が先に逆転

第1コリント 16:19 アジアの諸教会がよろしくと言っています。アキラとプリスカ、また彼らの家にある教会が、主にあって心から、あなたがたによろしくと言っています。

@プリスキラ=元ローマ人

18:3 自分も同業者であったので、その家に住んで一緒に仕事をした。彼らの職業は天幕作りであった。

@パウロは働きながら仕えた

18:4 パウロは安息日ごとに会堂で論じ、ユダヤ人やギリシア人を説得しようとした。

@(RV) この説の前に「そして」を挿入

18:5 シラスとテモテがマケドニアから下って来ると、パウロはみことばを語ることに専念し、イエスがキリストであることをユダヤ人たちに証した。

みことばを語ることに専念し=(TR)パウロは霊においてとらえられ、(KJV)
Paul was pressed in the spirit,

@マケドニヤ=ベレア (使徒 17:14)

17:14 そこで兄弟たちは、すぐにパウロを送り出して海岸まで行かせたが、シラスとテモテはベレアにとどまった。

18:6 しかし、彼らが反抗して口汚くののしったので、パウロは衣のちりを振り払って言った。「あなたがたの血は、あなたがたの頭上に降りかかれ。私には責任がない。今から私は異邦人のところに行く。」

18:7 そして、そこを去って、ティティオ・ユストという名の、神を敬う人の家に行った。その家は会堂の隣にあった。

敬う = ◀ 4576. sebó (セポー) 10回 ▶ (V) 礼拝する、敬意を払う、adore

@この部分は「神を恐れる」という訳が適切であろうというのも、マルコ 7:7 でもこの単語が使われているが

マル 7:7 彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、
教えとして教えるのだから。』

礼拝と訳されたこの箇所引用元であるイザヤ 29 : 13 では「恐れる」 ◀ 3373. yare (אָר) (ヤレ)55回 ▶ となっているからです。

イザ 29:13 主は言われた。「それは、この民が口先でわたしに近づき、唇でわたしを敬いながら、その心がわたしから遠く離れているからだ。彼らがわたしを恐れるのは、人間の命令を教え込まれてのことである。

18:9 ある夜、主は幻によってパウロに言われた。「恐れなくて、語り続けなさい。黙ってはいけない。

18:10 わたしがあなたとともにいるので、あなたを襲って危害を加える者はいない。この町には、わたしの民がたくさんいるのだから。

18:13 「この人は、律法に反するやり方で神を拝むよう、人々をそそのかしています」と言った。

拝む = ◀ 4576. sebó (セポー) 10回 ▶ (V) 礼拝する、敬意を払う、adore

18:20 人々は、もっと長くとどまるように頼んだが、パウロは聞き入れず、

@ (R V) この後に「いつの場合でも私はエルサレムの祭りを守らねばなりませんので」を挿入

18:24 さて、アレクサンドリア生まれで**アポロ**という名の、雄弁なユダヤ人がエペソに来た。彼は聖書に通じていた。

@アレキサンドリヤ=当時世界最大の図書館があった

@アポロ=ギリシャ人

(1 コリント 1:12 あなたがたはそれぞれ、「私はパウロにつく」「私はアポロに」「私はケファに」「私はキリストに」と言っているとのことです。

1 コリ 3:5 アポロとは何なのでしょう。パウロとは何なのでしょう。あなたがたが信じるために用いられた奉仕者であって、主がそれぞれに与えられたとおりのことをしたのです。

3:6 私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。

1 コリ 4:6 兄弟たち。私はあなたがたのために、私自身とアポロに当てはめて、以上のことを述べてきました。それは、私たちの例から、「書かれていることを越えない」ことをあなたがたが学ぶため、そして、一方にくみし、他方に反対して思い上がることをないようにするためです。

1 コリ 16:12 兄弟アポロのことですが、兄弟たちと一緒にあなたがたのところに行くように、私は強く勧めました。けれども、彼は今のところ行く意志は全くありません。しかし、良い機会があれば行くでしょう。

テトス 3:13 律法学者ゼナスとアポロが何も不足することがないように、その旅立ちをしっかりと支えてあげてください。

@アポロについての記述のほとんどはコリントの手紙

18:25 この人は主の道について教えを受け、霊に燃えてイエスのことを正確に語ったり教えたりしていたが、ヨハネのバプテスマしか知らなかった。

18:26 彼は会堂で大胆に語り始めた。それを聞いたプリスキラとアキラは、彼をわきに呼んで、神の道をもっと正確に説明した。

@招き入れて＝恥をかかせず、怒らせないように個人的に話した

@彼の性質（1、雄弁 2、聖書を知っている 3、主の道を知っている 4、霊に燃えていた 5、正確に語った 6、大胆） 7、へりくだり

18:27 アポロはアカイアに渡りたいと思っていたので、兄弟たちは彼を励まし、彼を歓迎してくれるようにと、弟子たちに手紙を書いた。彼はそこに着くと、恵みによって信者になっていた人たちを、大いに助けた。

励まし＝◀ 3874. *paraklésis* (パラクレシス) 29回▶ (N) 援助、励まし、呼びかけ、勧め、慰め

@大いに助けた＝へりくだって訓戒を受け入れたので、彼は大いに用いられた

19:1 アポロがコリントにいたときのことであった。パウロは内陸の地方を通してエペソに下り、何人かの弟子たちに出会った。

19:2 彼らに「信じたとき、聖霊を受けましたか」と尋ねると、彼らは「いいえ、聖霊がおられるのかどうか、聞いたこともありません」と答えた。

19:3 「それでは、どのようなバプテスマを受けたのですか」と尋ねると、彼らは「ヨハネのバプテスマです」と答えた。

19:9 しかし、ある者たちが心を頑なにしてお聞き入れず、会衆の前でこの道の

ことを悪く言ったので、パウロは彼らから離れ、弟子たちも退かせて、毎日テ
ィラノの講堂で論じた。

19:10 これが二年続いたので、アジアに住む人々はみな、ユダヤ人もギリシア
人も主のことばを聞いた。

19:11 神はパウロの手によって、驚くべき力あるわざを行われた。

19:14 このようなことをしていたのは、ユダヤ人の祭司長スケワという人の七
人の息子たちであった。

19:15 すると、悪霊が彼らに答えた。「イエスのことは知っているし、パウロ
のこともよく知っている。しかし、おまえたちは何者だ。」

19:1 アポロがコリントにいたときのことであった。パウロは内陸の地方を通
ってエペソに下り、何人かの弟子たちに出会った。

@誰の弟子か？

19:2 彼らに「信じたとき、聖霊を受けましたか」と尋ねると、彼らは「いい
え、聖霊がおられるのかどうか、聞いたこともありません」と答えた。

19:3 「それでは、どのようなバプテスマを受けたのですか」と尋ねると、彼
らは「ヨハネのバプテスマです」と答えた。

19:9 しかし、ある者たちが心を頑なにして聞き入れず、会衆の前でこの道の
ことを悪く言ったので、パウロは彼らから離れ、弟子たちも退かせて、毎日テ
ィラノの講堂で論じた。

抵抗があるときに引き下がるのも大切である。

19:10 これが二年続いたので、アジアに住む人々はみな、ユダヤ人もギリシア人も主のことばを聞いた。

@ 2年間ひとつの場所に時間を費やした。

@使徒的訓練センター

@弟子が成長して宣教した・・長老になった(使徒 20:17)・・牧者(使徒 20:28)

19:11 神はパウロの手によって、驚くべき力あるわざを行われた。

(ギ) 奇跡、そして、普通ではないこと、神は行われた、パウロの手によって。

◀ 1411. dunamis (デュナミス) 120 回▶(N) 力、能力、奇跡、驚くべき業

◀ 5177. tugchanó (テュグハノ) 12 回▶(V) 持つ、起こる、普通の、毎日

19:14 このようなことをしていたのは、ユダヤ人の祭司長スケワという人の七人の息子たちであった。

19:15 すると、悪霊が彼らに答えた。「イエスのことは知っているし、パウロのこともよく知っている。しかし、おまえたちは何者だ。」

@私たちはサタンに知られている

19:17 このことが、エペソに住むユダヤ人とギリシア人のすべてに知れ渡ったので、みな恐れを抱き、主イエスの名をあがめるようになった。

あがめる = ◀ 3170. megalunó (メガルノ) 8 回▶ 偉大にする、偉大だと宣言する、あがめる、大きくする、賛美する

19:18 そして、信仰に入った人たちが大勢やって来て、自分たちのしていた行為を告白し、明らかにした。

(KJV) And many that believed came, and confessed, and shewed their deeds.

@信仰にはいった人たち=すでに信者になっている人たち

@していたこと=現在進行形 (ギで調べてみたが文法的な根拠は不明)

19:19 また魔術を行っていた者たちが多数、その書物を持って来て、皆の前で焼き捨てた。その値段を合計すると、銀貨五万枚になった。

行っていた=行っている (現在完了形) **having practiced (HUB)**

19:20 こうして、主のことばは力強く広まり、勢いを得ていった。

@こうして=罪を悔い改めた結果

19:23 そのころ、この道のことで、大変な騒ぎが起こった。

19:27 これでは、私たちの仕事の評判が悪くなる恐れがあるばかりか、偉大な女神アルテミスの神殿も軽んじられ、全アジア、全世界が**拝む**この女神のご威光さえも失われそうです。」

拝む=◀ 4576. sebó (セボー) 10回▶ (V) 礼拝する、敬意を払う、adore

@この部分は「神を恐れる」という訳が適切であろうというのも、マルコ 7:7 でもこの単語が使われているが

マル 7:7 彼らがわたしを礼拝しても、むなしい。人間の命令を、

教えとして教えるのだから。』

礼拝と訳されたこの箇所引用元であるイザヤ29：13では「恐れる」◀
3373. yare (יָרֵא) (ヤレ)55回▶となっているからです。

イザ 29:13 主は言われた。「それは、この民が口先でわたしに近づき、唇でわたしを敬いながら、その心がわたしから遠く離れているからだ。彼らがわたしを恐れるのは、人間の命令を教え込まれてのことである。

19:28 これを聞くと彼らは激しく怒り、「偉大なるかな、エペソ人のアルテミス」と叫び始めた。

@ (エレミヤ 44:17) 天の女王にいけにえを、
@アルテミス = (ラ) ダイアナ

19:30 パウロはその集まった会衆の中に入って行こうとしたが、弟子たちがそうさせなかった。

@集団の中には行って行こうとした = 大胆さ

(使徒 14:20 しかし、弟子たちがパウロを囲んでいると、彼は立ち上がって町に入って行った。そして翌日、バルナバとともにデルベに向かった。

@弟子たちがそうさせなかった = 思慮深さ

◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109回▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する、

19:31 パウロの友人でアジア州の高官であった人たちも、パウロに使いを送り、劇場に入って行かないようにと懇願した。

19:32 人々は、それぞれ違ったことを叫んでいた。実際、集会は混乱状態で、大多数の人たちは、何のために集まったのかさえ知らなかった。

@混乱状態に陥り、大多数の者は、なぜ集まったのかさえ知らなかった＝宗教的混乱

19:34 しかし、彼がユダヤ人だと分かると、みな一斉に声をあげ、「偉大なるかな、エペソ人のアルテミス」と二時間ほど叫び続けた。

@二時間ばかり＝宗教の霊

@しかしこの出来事から15年たった時、誰もこの女神を拜まなくなった

19:37 皆さんは、この人たちをここに連れて来ましたが、彼らは神殿を汚した者でも、私たちの女神を冒瀆した者でもありません。

神殿を汚した者＝ ◀ 2417. hierosulos (ヒラスラス) 1回 ▶(N) 神殿のものをかすめるもの

(動詞) は◀ 2416. Hierosuleó (ヒエラスレオ) ▶(V) 神殿のものを盗む

ロマ 2:22 姦淫すると言いながら、自分は姦淫するのですか。偶像を忌み嫌いながら、神殿の物をかすめ取るのですか。

20:7 週の初めの日に、私たちはパンを裂くために集まった。パウロは翌日に出発することにしていたので、人々と語り合い、夜中まで語り続けた。

翌日◀ 1887. epaurion (エパウリオン) 17回▶翌日

◀ 839. aurion (アウリオン) 14回▶明日

@週の初めの日＝土曜日の夜（安息日が明けた日の夜）

@翌日＝Epaursion Epi Aurion (to morning)＝続きの朝 翌朝

20:9 ユテコという名の一人の青年が、窓のところに腰掛けていたが、パウロの話が長く続くので、ひどく眠気がさし、とうとう眠り込んで三階から下に落ちてしまった。抱き起こしてみると、もう死んでいた。

眠気、眠り込んで＝ ◀ 5258. hupnos (フプナス) 6回 ▶ 睡眠（深い眠り）

hupnos (フプナス)が使われている箇所

マタ 1:24 ヨセフは眠りから覚めると主の使いが命じたとおりにし、自分の妻を迎え入れたが、

ルカ 9:32 ペテロと仲間たちは眠くてたまらなかったが、はっきり目が覚めると、イエスの栄光と、イエスと一緒に立っている二人の人が見えた。

ヨハ 11:13 イエスは、ラザロの死のことを言われたのだが、彼らは睡眠の意味での眠りを言われたものと思ったのである。

使 20:9 ユテコという名の一人の青年が、窓のところに腰掛けていたが、パウロの話が長く続くので、ひどく眠気がさし、とうとう眠り込んで三階から下に落ちてしまった。抱き起こしてみると、もう死んでいた。

ロマ 13:11 さらにあなたがたは、今がどのような時であるか知っています。あなたがたが眠りからさめるべき時刻が、もう来ているの

です。私たちが信じたときよりも、今は救いをもっと私たちに近づいているのですから。

◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する、

使 20:12 人々は生き返った青年を連れて帰り、ひとかたならず慰められた。

20:17 パウロはミレトスからエペソに使いを送って、教会の長老たちを呼び寄せた。

長老たち=牧師

@長老=かつての弟子たち (使徒 19:20)

@かつては聖霊すら知らなかった

エペソ 19:2 彼らに「信じたとき、聖霊を受けましたか」と尋ねると、彼らは「いいえ、聖霊がおられるのかどうか、聞いたこともありません」と答えた。

20:18 彼らが集まって来たとき、パウロはこう語った。「あなたがたは、私がアジアに足を踏み入れた最初の日から、いつもどのようにあなたがたと過ごしてきたか、よくご存じです。

@いつも=不断の証

20:19 私は、ユダヤ人の陰謀によってこの身に降りかかる数々の試練の中で、謙遜の限りを尽くし、涙とともに主に仕えてきました。

20:20 益になることは、公衆の前でも家々でも、余すところなくあなたがたに

伝え、また教えてきました。

@ 余すところなく = ◀ 5288. hupostelló (ウパステロ) 4回 ▶ (V) ひっこめる
しりぞく

(改2)少しもためらわず

ガラ 2:12 ケファは、ある人たちがヤコブのところから来る前は、異邦人と一緒に食事をしていたのに、その人たちが来ると、割礼派の人々を恐れて異邦人から身を引き、離れて行ったからです。

ヘブル 10:38 わたしの義人は信仰によって生きる。もし恐れ退くなら、わたしの心は彼を喜ばない。」

20:22 ご覧なさい。私は今、御霊に縛られてエルサレムに行きます。そこで私にどんなことが起こるのか、分かりません。

御霊に縛られて = (ギ) the 霊に縛られて。 = (改2)心を縛られて

20:24 けれども、私が自分の走るべき道のりを走り尽くし、主イエスから受けた、神の恵みの福音を証しする任務を全うできるなら、自分のいのちは少しも惜しいとは思いません。

20:26 ですから、今日この日、あなたがたに宣言します。私は、だれの血に対しても責任がありません。

宣言する = ◀ 3143. marturomai (マルトウロマイ) 5回 ▶ 証言する

宣言する(使徒 20:26)、はっきり

言う(ガラ 5:3)

20:27 私は神のご計画のすべてを、余すところなくあなたがたに知らせたから

です。

20:28 あなたがたは自分自身と群れの全体に気を配りなさい。神がご自分の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、聖霊はあなたがたを群れの監督にお立てになったのです。

気を配りなさい＝◀ 4337. prosechó (プロセホ) 24 回▶ 注意する、使徒 8:6) 関心を持つ(改 4)、耳を傾ける ((改 2)

使 8:6 群衆はピリポの話聞き、彼が行っていたしるしを見て、彼が語ることに、そろって関心を抱くようになった。

牧させる＝◀ 4165. poimainó (ポイマイノ) 11 回▶ 羊飼いととしての活動をする、牧する、世話する、治める、養う

ユダ 1:12 この人たちは、あなたがたの愛餐のしみです。恐れる心もなく一緒に食事をしますが、自分を養っているだけです。彼らは、風に吹き流される雨無し雲、枯れに枯れて根こそぎにされた、実りなき秋の木、

@監督＝牧師＝牧させるための監督

20:29 私は知っています。私が去った後、狂暴な狼があなたがたの中に入り込んで来て、容赦なく群れを荒らし回ります。

@狂暴な狼

20:31 ですから、私が三年の間、夜も昼も、涙とともにあなたがた一人ひとり

を訓戒し続けてきたことを思い起こして、目を覚ましていなさい。

訓戒する = ◀ 3560. noutheteó (ヌセテオ) 8回 ▶ (V) 訓戒する、忠告する。

= (KJV) warn 警告する、(NAS) admonishing 訓戒する

ロマ 15:14 私の兄弟たちよ。あなたがた自身、善意にあふれ、あらゆる知識に満たされ、互いに訓戒し合うことができると、この私も確信しています。

I コリ 4:14 私がこれらのことを書くのは、あなたがたに恥ずかしい思いをさせるためではなく、私の愛する子どもとして諭すためです。

コロ 1:28 私たちはこのキリストを宣べ伝え、あらゆる知恵をもって、すべての人を諭し、すべての人を教えています。すべての人を、キリストにあって成熟した者として立たせるためです。

コロ 3:16 キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い、詩と賛美と霊の歌により、感謝をもって心から神に向かって歌いなさい。

I テサ 5:12 兄弟たち、あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主にあってあなたがたを指導し、訓戒している人たちを重んじ、

I テサ 5:14 兄弟たち、あなたがたに勧めます。怠惰な者を諭し、小心な者を励まし、弱い者の世話をし、すべての人に対して寛容でありなさい。

怠惰なもの = ◀ 813. ataktos (アタクタス) 1回 ▶ (A)無秩序な、場違

いな、(NAS. KJV)手に負えない者

II テサ 3:15 しかし、敵とは見なさないで、兄弟として諭しなさい。

@訓戒はメンバーを通じて教会に悪い霊が入り込む事を防ぐ殆ど唯一の方法です。

@ 3 2 節の「神とその恵みのみことばとにゆだねます」という言葉も、十分教え、訓戒した結果可能なことであって、それをせずに、ただゆだねていては無秩序になる

20:32 今私は、あなたがたを神とその恵みのみことばにゆだねます。みことばは、あなたがたを成長させ、聖なるものとされたすべての人々とともに、あなたがたに御国を受け継がせることができるのです。

20:34 あなたがた自身が知っているとおりに、私の両手は、自分の必要のためにも、ともにいる人たちのためにも働いてきました。

20:35 このように労苦して、弱い者を助けなければならないこと、また、主イエスご自身が『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを、覚えているべきだということを、私はあらゆることを通してあなたがたに示してきたのです。」

21:4 私たちは弟子たちを探して、そこに七日間滞在した。彼らは御霊に示されて、エルサレムには行かないようにとパウロに繰り返し言った。

@御霊に示されて=パウロが縛られるのを見て、「エルサレムに上らぬように」と解釈した

@弟子レベルだったので、まだまだ甘かったが、偽りの預言をしたわけではない=部分的な預言

@預言的だが使徒的ではない

21:8 翌日そこを出発して、カイサリアに着くと、あの七人の一人である伝道者ピリポの家に行き、そこに滞在した。

21:9 この人には、預言をする未婚の娘が四人いた。

@ここでも何か預言があったことでしょう

21:10 かなりの期間そこに滞在していると、アガボという名の預言者がユダヤから下って来た。

(共) 21:10 幾日か滞在していたとき、ユダヤからアガボという預言する者が下って来た。

(協共) 21:10 幾日か滞在していたとき、ユダヤからアガボと言う預言者が下って来た。

@協会共同訳になって新改訳のようになったことの良い例

21:11 彼は私たちのところに来て、パウロの帯を取り、自分の両手と両足を縛って言った。「聖霊がこう言われます。『この帯の持ち主を、ユダヤ人たちはエルサレムでこのように縛り、異邦人の手に渡すことになる。』」

@実演の預言（預言的行動）

◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回 ▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する、

21:12 これを聞いて、私たちも土地の人たちもパウロに、エルサレムには上って行かないようにと懇願した。

① アガボは御霊が見せたものを正しく伝えた

② 弟子たちは聞いたことに対して自分なりに常識的な解釈をした

③ 解釈は正しくなかった。

④ アガボは使徒ではない預言者だったので、自分の解釈は入れなかった。

21:13 すると、パウロは答えた。「あなたがたは、泣いたり私の心をくじいたりして、いったい何をしているのですか。私は主イエスの名のためなら、エルサレムで縛られるだけでなく、死ぬことも覚悟しています。」

21:20 彼らはこれを聞いて神をほめたたえ、パウロに言った。「兄弟よ。ご覧のとおり、ユダヤ人の中で信仰に入っている人が何万となくいますが、みな律法に熱心な人たちです。」

ほめたたえる = ◀ 1392. doxazó (ドクサツゾ) 6 2回 ▶ 栄光を与える、あがめる、ほめたたえる(ルカ 17:15)、尊敬する、称賛する、賛美する、重くする(ロマ 11:13)

21:24 この人たちを連れて行って、一緒に身を清め、彼らが頭を剃る費用を出してあげてください。そうすれば、あなたについて聞かされていることは根も葉もないことで、あなたも律法を守って正しく歩んでいることが、皆に分かるでしょう。

@パウロ自体は律法を守っていた。

@ (使徒 18:20 の追加 (TR)) 「私はどうしても、来るべき祭りをエルサレムで守らなければなりません。」を挿入

21:39 パウロは答えた。「私はキリキアのタルソ出身のユダヤ人で、れっきとした町の市民です。お願いです。この人たちに話をさせてください。」

お願いです = ◀ 1189.(デオマイ) deomai 22回 ▶ 祈る、お願いする、懇願する

しきりに願う

ルカ 8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいとしきりに願った。しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

懇願する

Ⅱ コリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。

22:3 「私は、キリキアのタルソで生まれたユダヤ人ですが、この町で育てられ、ガマリエルのもとで先祖の律法について厳しく教育を受け、今日の皆さんと同じように、神に対して熱心な者でした。

@ガマリエル（使徒 5:34）当時信用されていた律法学者

22:4 そしてこの道を迫害し、男でも女でも縛って牢に入れ、死にまでも至らせました。

22:5 このことについては、大祭司や長老会全体も私のために証言してくれます。この人たちから兄弟たちに宛てた手紙まで受け取って、私はダマスコへ向かいました。そこにいる者たちも縛り上げ、エルサレムに引いて来て処罰するためでした。

@兄弟たちへあてた手紙＝（口）ダマスコの同士にあてた手紙

22:8 私が答えて、『主よ、あなたはどなたですか』と言うと、その方は私に言われました。『わたしは、あなたが迫害しているナザレのイエスである。』

@（ステップ1）『主よ。あなたはどなたですか。』

22:9 一緒にいた人たちは、その光は見たのですが、私に語っている方の声は聞き分けられませんでした。

22:10 私が『主よ、私はどうしたらよいのでしょうか』と尋ねると、主は私に言われました。『起き上がって、ダマスコに行きなさい。あなたが行くように定められているすべてのことが、そこであなたに告げられる』と。

@ (ステップ2) 『主よ。私はどうしたらよいのでしょうか。』

22:14 彼はこう言いました。『私たちの父祖の神は、あなたをお選びになりました。あなたがみこころを知り、義なる方を見、その方の口から御声を聞くようになるためです。

私たちの父祖の神は=(ギ)(KJV) The God of our fathers

お選びになりました=◀ 4400. procheirizó (プラヘイリゾ) 3回▶(V) ~の手にゆだねる、選ぶ、定める、

(改2)22:14 彼はこう言いました。『私たちの先祖の神は、あなたにみこころを知らせ、義なる方を見させ、その方の口から御声を聞かせようとお定めになったのです。

22:20 また、あなたの証人ステパノの血が流されたとき、私自身もその場において、それに賛成し、彼を殺した者たちの上着の番をしていたのです。』

@タルムードには当時の処刑の様子が書かれている。法廷の扉の前に旗を持った男が立ち、新証人が現れたら旗を振って合図して、処刑を止める。「旗」= (へ) スーダロ=着物。したがってパウロは単なる着物の見張り人ではなく、検事としての地位に立っていた。

@だから自分自身を「私はその罪人のかしらです。」(1テモテ 1:15)と言った。

23:1 パウロは、最高法院の人々を見つめて言った。「兄弟たち。私は今日まで、あくまでも健全な良心にしたがって、神の前に生きてきました。」

あくまでも健全な良心にしたがって=(改 2) 全くきよい良心をもって

◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、
勧める、懇願する、助言する、奨励する、
使 24:4 さて、これ以上ご迷惑をおかけしないために、私たちが手短に申し上げることを、ご寛容をもってお聞きくださるようお願いいたします。

24:5 この男は、まるでペストのような存在で、世界中のユダヤ人の間に騒ぎを起こしている者であり、ナザレ人という一派の首領でございます。

@当時クリスチャンはこう呼ばれていた。=キリスト教はユダヤ教の一派とみなされていた。

24:11 お調べになれば分かることですが、私が礼拝のためにエルサレムに上ってから、まだ十二日しかたっていません。

礼拝のため=◀ 4352. proskuneó (プラスクネーオ) 60 回▶ (一般的な礼拝を意味する単語) 礼拝する、敬意を払う、(畏敬をもって手に)キスする、ひざまづく

24:24 数日後、フェリクスはユダヤ人である妻ドルシラとともにやって来て、パウロを呼び出し、キリスト・イエスに対する信仰について話を聞いた。

@私たちは信仰について語るべきです。

@預言者、モーセ以外には何も語らない(使徒 26:22)

24:25 しかし、パウロが正義と節制と来たるべきさばきについて論じたので、フェリクスは恐ろしくなり、「今は帰ってよい。折を見て、また呼ぶことにする」と言った。

@正義＝

@節制＝

第2 ペテロ 1:5 だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、信仰には徳を、徳には知識を、

1:6 知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、

1:7 敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。

@審判＝

◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109 回 ▶ (V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する、

使徒 25:3 そして、パウロの件で自分たちに好意を示し、彼をエルサレムに呼び寄せていただきたいと、フェストゥスに懇願した。待ち伏せして、途中でパウロを殺そうとしていたのである。(KJV) では 2 節

25:24 フェストゥスは言った。「アグリッパ王、ならびにご列席の皆さん、この者をご覧ください。多くのユダヤ人たちがみな、エルサレムでもここでも、もはや生かしておくべきではないと叫び、私に訴えてきたのは、この者です。

25:26 ところが、彼について、わが君に書き送るべき確かな事柄が何もありません。それで皆さんの前に、わけてもアグリッパ王、あなたの前に、彼を引き出しました。こうして取り調べることで、何か私が書き送るべきことを得たいのです。

@アグリッパ王＝ヘロデ

@このころはAD 60 崩壊の10年前

26:3 特に、王様はユダヤ人の慣習や問題に精通しておられます。ですから、どうか忍耐をもって、私の申し上げることをお聞きくださるよう、お願いいたします。

お願いいたします= ◀ 1189.(デオマイ) deomai 22回▶ 祈る、お願いする、懇願する

しきりに願う

ルカ 8:38 悪霊が去ったその人は、お供をしたいとしきりに願った。
しかし、イエスはこう言って彼を帰された。

懇願する

II コリ 8:4 聖徒たちを支える奉仕の恵みにあずかりたいと、大変な熱意をもって私たちに懇願しました。

26:5 彼らは以前から私を知っているので、証言しようと思えばできますが、私は、私たちの宗教の中で最も厳格な派にしたがって、パリサイ人として生活してきました。

宗教= ◀ 2356. thréskeia (トレイスカイヤ) 4回▶ (N) 宗教、礼拝(コロ 2:18)
使 26:5 彼らは以前から私を知っているので、証言しようと思えばできますが、私は、私たちの宗教の中で最も厳格な派にしたがって、パリサイ人として生活してきました。

コロ 2:18 自己卑下や御使い礼拝を喜んでいる者が、あなたがたを断罪することがあってはなりません。彼らは自分が見た幻に拠り頼み、肉の思いによっていたずらに思い上がって、

ヤコブ 1:26 自分は宗教(2357 形容詞)心にあついても、自分の舌を制御せず、自分の心を欺いているなら、そのような人の宗教(2356 名詞)はむなしいものです。

ヤコ 1:27 父である神の御前でよく汚れのない宗教とは、孤児ややもめたちが困っているときに世話をし、この世の汚れに染まらないよう自分を守ることです。

26:8 神が死者をよみがえらせるということを、あなたがたは、なぜ信じがたいこととお考えになるのでしょうか。

26:14 私たちはみな地に倒れましたが、そのとき私は、ヘブル語で自分に語りかける声を聞きました。『サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。とげの付いた棒を蹴るのは、あなたには痛い。』

26:17 わたしは、あなたをこの民と異邦人の中から救い出し、彼らのところに遣わす。

26:18 それは彼らの目を開いて、闇から光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、こうしてわたしを信じる信仰によって、彼らが罪の赦しを得て、聖なるものとされた人々とともに相続にあずかるためである。』

@ (1) 目を開いて

26:19 こういうわけで、アグリッパ王よ、私は天からの幻に背かず、

@ 幻に背かず=(改 2)啓示にそむかず=(RV) 反抗せず

26:22 このようにして、私は今日に至るまで神の助けを受けながら、堅く立って、小さい者にも大きい者にも証しをしています。そして、話してきたことは、

預言者たちやモーセが後に起こるはずだと語ったことにほかなりません。

証しをしています= ◀ 3143. marturomai (マルトウロマイ) 5回 ▶ 証言する
宣言する(使徒 20:26)、はっきり
言う(ガラ 5:3)

ことにほかなりません=(改 2) 以外は何も話しませんでした=(ギ・英)
nothing beside 他のことは何も~ない

26:24 パウロがこのように弁明していると、フェストゥスが大声で言った。
「パウロよ、おまえは頭がおかしくなっている。博学がおまえを狂わせてい
る。」

@大声で、=光に耐えられなくなって叫んだ

26:25 パウロは言った。「フェストゥス閣下、私は頭がおかしくはありません。
私は、真実で理にかなったことばを話しています。

@ことば=レーマ

26:28 するとアグリッパはパウロに、「おまえは、わずかな時間で私を説き伏
せて、キリスト者にしようとしている」と言った。

使 26:29 しかし、パウロはこう答えた。「わずかな時間であろうと長い時間であ
ろうと、私が神に願っているのは(2172)、あなたばかりでなく今日私の話を
聞いておられる方々が、この鎖は別として、みな私のようになってくださること
です。」

願っている= ◀ 2172. euchomai (ユーハマイ) 7回 ▶ 祈る、願う、思う(ロー

マ 9:3)、待ちわびる(使徒 27:29)

第2コリ 13:7 私たちは、あなたがたがどんな悪も行うことのないように、神に祈っています。・・・

使 27:29 どこかで暗礁に乗り上げるのではないかと恐れて、人々は船尾から錨を四つ投げ降ろし、夜が明けるのを待ちわびた(2172)。

ローマ 9:3 私は、自分の兄弟たち、肉による自分の同胞のためなら、私自身がキリストから引き離されて、のろわれた者となってもよいとさえ思っています(2172)。

26:32 また、アグリッパはフェストゥスに、「あの人は、もしカエサルに上訴していなかったら、釈放してもらえたであろうに」と言った。

27:7 何日もの間、船の進みは遅く、やっとのことでクニドの沖まで来たが、風のせいでそれ以上は進めず、サルモネ沖のクレタの島陰を航行した。

@悪い日のために (前) そなえる、祈り、み言葉中) 抵抗する (後) 学ぶ、忘れない、あかし、感謝

27:9 かなりの時が経過し、断食の日もすでに過ぎていたため、もはや航海は危険であった。そこでパウロは人々に警告して、

注意して=◀ 3867. paraineó (パライネオ) 2回▶(v) 訓戒する、警告する、忠告する、アドバイスする

使徒 27:22 しかし今、あなたがたに勧めます。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う人は一人もありません。失われるのは船だけです。

使徒 27:9 かなりの時間が経過し、断食の日もすでに過ぎていたため、もはや航海は危険であった。そこでパウロは人々に警告して、

@パウロは一般常識に従ってアドバイスをした。(10月以降は海が荒れやすいので)

(口) 断食期

(共) 断食日

(NIV) the Fast

(新改訳の注釈) すなわち「十月の、購いの日」

27:11 しかし百人隊長は、パウロのことばよりも、航海士や船長のほうを信用した。

(改4)航海士や船長、(共) 船長や船主、(口) 船長や船主、(KJV) the master and the owner of the ship

航海士 = ◀ 2942. kubernétés (クベルネイテス) 2回 ▶ 航海士、船長、ガイド

船長 = ◀ 3490. naukléros (ナウクレラス) 1回 ▶ 船長、船主

@ 航海士 = 経験 船主 = お金 これらに頼った結果難破した。

27:12 また、この港は冬を過ごすのに適していなかったので、多数の者たちの意見により、ここから船出し、できれば、南西と北西に面しているクレタの港フェニクスに行き、そこで冬を過ごそうということになった。

@冬を過ごすのに適していなかったの＝人間的な知恵

27:13 さて、穏やかな南風が吹いて来たので、人々は思いどおりになったと考え、錨を上げて、クレタの海岸に沿って航行した。

思いどおりになったと考え＝(改 2)この時とばかりに

@この時とばかり＝(RV) 欲しがっていたっていたものを見つけた

@この時とばかり＝好機でも御心とは限らない、

(1サム 26:8)「神はきょう、あなたの敵をあなたの手に渡されました。

(ヨナ 1:3) 彼は、タルシシュ行きの船を見つけ、

27:22 しかし今、あなたがたに勧めます。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う人は一人もありません。失われるのは船だけです。

勧めます＝◀ 3867. paraineó (パライネオ) 2回▶(v) 訓戒する、警告する、忠告する、アドバイスする

@一般的な勧めるとは違う、訓戒的なニュアンス

(KJV)では exhort (この箇所以外(16か所)のすべての KJV に exhort と翻訳された言葉は◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109回▶(V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する、) 英語の exhort の意味は「励ます」だが(意味は弱い)「訓戒する」という意味もある。しかし◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109回▶には「訓戒する」という意味はなく「慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する」である。

使徒 27:22 しかし今、あなたがたに勧めます。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う人は一人もありません。失われるのは船だけです。

使徒 27:9 かなりの時が経過し、断食の日もすでに過ぎていたため、もはや航海は危険であった。そこでパウロは人々に警告して、

27:29 どこかで暗礁に乗り上げるのではないかと恐れて、人々は船尾から錨を四つ投げ降ろし、夜が明けるのを待ちわびた(2172)。

待ちわびた = ◀ 2172. euchomai (ユーハマイ) 7回 ▶ 祈る、願う、思う(ローマ 9:3)、待ちわびる(使徒 27:29)

使 26:29 しかし、パウロはこう答えた。「わずかな時間であろうと長い時間であろうと、私が神に願っているのは(2172)、あなたばかりでなく今日私の話を聞いておられる方々が、この鎖は別として、みな私のようになってくれることです。」

ローマ 9:3 私は、自分の兄弟たち、肉による自分の同胞のためなら、私自身がキリストから引き離されて、のろわれた者となってもよいとさえ思っています(2172)。

第2コリ 13:7 私たちは、あなたがたがどんな悪も行わないように、神に祈っています。・・・

27:35 こう言って、彼はパンを取り、一同の前で神に感謝の祈りをささげてから、それを裂いて食べ始めた。

感謝の祈りをささげて＝◀ 2168. Eucharisteó(ユ'ハリステオ) 38回▶ (V) 感謝する

28:3 パウロが枯れ枝を一抱え集めて火にくべると、熱気のために一匹のまむしが這い出して来て、彼の手にかみついた。

枯れ枝を一抱え集めて火にくべる＝仕えていた

28:8 たまたまプブリウスの父が、発熱と下痢で苦しんで床についていた (2621)。パウロはその人のところに行って、彼に手を置いて祈り、癒やした。

床についていた＝◀ 2621. katakeimai (カタカマイ) 12回▶ (大)横になる、寝ている、(小)食卓に着く

癒やした＝◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27回▶ (肉体を)癒す (救いという意味はない)

28:9

癒す＝◀ 2323. therapeúo (セラプオ) 43回▶癒す、とり扱う、治療する、仕える(Acts17:25)

使徒 28:20 そういうわけで、私はあなたがたに会ってお話したいと願ったのです。私がこの鎖につながれているのは、イスラエルの望みのためです。」

願った＝◀ 3870. parakaleó (パラカレオ) 109回▶(V) 呼びかける。慰める、励ます、勧める、懇願する、助言する、奨励する、

@イスラエルの望み＝(ルカ 2:25-) すると、シメオンは幼子を腕

に抱き、神をほめたたえて言った。

28:22 私たちは、あなたが考えておられることを、あなたから聞くのがよいと思っています。この宗派について、いたるところで反対があるということを、私たちは耳にしていますから。」

宗派 = ◀ 139. hairesis (ハイレシス) 9 回 ▶ (N) 派、宗派、分派

28:25 互いの意見が一致しないまま彼らが帰ろうとしたので、パウロは一言、次のように言った。「まさしく聖霊が、預言者イザヤを通して、あなたがたの先祖に語られたとおりです。

28:27

癒やす = ◀ 2390. iaomai (イアオマイ) 27 回 ▶ (肉体を) 癒す (救いという意味はない)

28:31 少しもはばかりことなく、また妨げられることもなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストのことを教えた。